

# Rider's Manual

## K 1200 S



BMW Motorrad



駆けぬける喜び

## モーターサイクル / ディーラーのデータ

### モーターサイクルデータ

---

モデル

---

フレーム番号

---

カラー

---

初度登録

---

ライセンスプレート

### ディーラーデータ

---

アフターサービス担当者

---

氏名

---

電話番号

---

ディーラー所在地 / 電話 ( スタンプ )

## BMW Motorrad の世界へ ようこそ

BMW Motorrad をご購入いただき、ありがとうございました。世界中で多くの熱狂的なファンを持つ BMW Motorrad ライダーの一員となられたことを心から歓迎いたします。

あらゆる交通状況のなかで、安全にライディングを楽しむでいただくためには、購入されたモーターサイクルをよく理解し、親しんでいただくことが大切です。

モーターサイクルを使用される前に、まず本書をお読みください。本書には、モーターサイクルを操作し、あらゆる機能を十分に活かすための情報が掲載されています。

また、ライダーの安全やモーターサイクルの信頼性を確保し、愛車の価値を末永く維持するための整備と手入れに関する情報が掲載されています。

疑問に思われることが生じたり、アドバイスが必要になった場合は、BMW Motorrad デイラーのスタッフにお気軽にお問い合わせください。

安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad

# 目次

特定の項目についてお探しの際には、巻末の索引もご利用ください。

<b>1 一般的な情報</b> .....	<b>5</b>	警告表示一般 .....	21	ヘルメットホルダー .....	52
全体図 .....	6	タイヤ空気圧コントロール ( RDC ) 警告表示 <sup>OE</sup> .....	28	ラゲッジルーフ .....	53
記号と意味 .....	6	ABS 警告表示 .....	31	ミラー .....	54
装備 .....	7	<b>4 操作</b> .....	<b>35</b>	スプリングプリロード .....	54
仕様 ( 諸元 ) .....	7	イグニッションスイッチとス テアリングロック .....	36	ショックアブソーバー .....	55
現状 .....	7	電子式イモビライザー .....	37	電子調整式サスペンション ( ESA ) <sup>OE</sup> .....	56
<b>2 全体図</b> .....	<b>9</b>	ハザードランプ .....	38	タイヤ .....	58
左側面 .....	11	オドメーター .....	39	<b>5 走行</b> .....	<b>59</b>
右側面 .....	13	時計 .....	40	安全に関する注意事項 .....	60
シート下 .....	14	タイヤ空気圧コントロール ( RDC ) <sup>OE</sup> .....	42	チェックリスト .....	62
左側ハンドルのスイッチ ..	15	オンボードコン ピューター <sup>OE</sup> .....	42	始動 .....	62
右側ハンドルのスイッチ ..	16	イグニッションキルス イッチ .....	45	慣らし走行 .....	64
メーターパネル .....	17	グリップヒーター <sup>OE</sup> .....	46	駐車する .....	65
ヘッドライト .....	18	クラッチ .....	46	給油 .....	66
<b>3 表示</b> .....	<b>19</b>	ブレーキ .....	47	タイヤ空気圧コントロール ( RDC ) <sup>OE</sup> .....	68
マルチファンクションディス プレイ .....	20	ライト .....	48	ブレーキシステム一般 .....	68
警告灯 / インジケーター ..	20	ヘッドライト .....	49	ブレーキシステム ( BMW Motorrad Integral ABS 装備 ) .....	69
ABS 警告灯 .....	20	ウインカー .....	49		
ファンクションインジ ケーター .....	20	シート .....	50		

<b>6 アクセサリー</b> .....	<b>73</b>	<b>8 お手入れ</b> .....	<b>117</b>	<b>10 サービス</b> .....	<b>135</b>
一般的な情報 .....	74	ケア用品 .....	118	BMW Motorrad .....	
電源ソケット .....	74	洗車 .....	118	サービス .....	136
荷物 .....	75	損傷しやすい車両部品のお		BMW Motorrad サービスク	
ケース <sup>OA</sup> .....	75	手入れ .....	118	オリティ .....	136
修理キット <sup>OA</sup> .....	79	ペイントのお手入れ .....	119	BMW Motorrad サービス	
<b>7 メンテナンス</b> .....	<b>81</b>	保護コーティング .....	120	ネットワーク .....	136
一般的な情報 .....	82	長期保管 .....	120	メンテナンス作業 .....	137
ツールキット .....	82	再使用 .....	120	メンテナンススケ	
エンジンオイル .....	83	<b>9 仕様 ( 諸元 )</b> .....	<b>121</b>	ジュール .....	137
ブレーキシステム一般 .....	85	トラブルシュー		点検記録 .....	138
ブレーキパッド .....	85	ティング .....	122	一般整備記録 .....	143
ブレーキフルード .....	87	ボルト .....	123	<b>BMW Motorrad Recycle...</b>	<b>149</b>
クラッチ .....	89	エンジン .....	124		
タイヤ .....	90	性能 .....	126		
ホイールリム .....	91	クラッチ .....	126		
ホイール .....	91	ギヤボックス .....	126		
フロントホイールス		リヤホイールドライブ .....	128		
タンド .....	98	サスペンション .....	128		
リヤホイールスタンド .....	100	ブレーキ .....	129		
バルブ .....	101	ホイールとタイヤ .....	129		
ジャンプスタート .....	111	エンジン電装 .....	130		
バッテリー .....	112	フレーム .....	132		
		寸法 .....	132		
		重量 .....	133		




## 一般的な情報


全体図 .....	6
記号と意味 .....	6
装備 .....	7
仕様 ( 諸元 ) .....	7
現状 .....	7

## 全体図

本書の第2章には、ご使用になられるモーターサイクルの全体図があります。第10章には、実施されたメンテナンスおよび修理作業がすべて記録されます。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。Rider's Manual は、モーターサイクルにとって重要な構成部品のひとつです。将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお願いいたします。

## 記号と意味


 ライダーとその周囲の人々の安全のため、また、モーターサイクルを損傷から守るために、必ず注意すべき警告を示します。

 モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手入れについての一般的な情報を示します。


◀ 注意事項の末尾を示します。


• 作業内容の指示を示します。

» 作業の結果を示します。

 説明のある参照ページを示します。

◁ アクセサリーや装備に関する情報の末尾を示します。

 締付けトルク

 テクニカルデータ

OE オプション  
ご希望のBMW オプション装備がモーターサイクルの製造時に工場  
で装着されます。

OA アクセサリー  
BMW アクセサリーのご購入および取り付けにつきましてはBMW Motorrad デイラーにて承ります。

EWS 電子式イモビライザー

ESA Electronic Suspension Adjustment  
電子調整式サスペンション

DWA 盗難警報装置

ABS アンチロックブレーキシステム



RDC タイヤ空気圧コントロール。

## 装備

BMW Motorrad のご購入に際しましては、それぞれお選びいただいたご希望の装備が装着されたモデルとなっています。本書では、BMW Motorrad がご用意しているオプション (OE) および選択されているアクセサリー (OA) について説明されています。そのため、あなたのモーターサイクルには装着されていない装備についての説明が含まれている場合がございますことをご了承ください。同様に、国別の仕様により、図示されているモーターサイクルと異なる場合があります。

Rider's Manual の中で説明されていない BMW 装備品については、別冊の取扱説明書をご覧ください。

## 仕様 (諸元)

Rider's Manual に掲載されている寸法、重量、性能に関する情報はすべて、ドイツ工業規格 (DIN) およびその許容差規定に基づいて表記されています。国によって仕様が異なる場合があります。

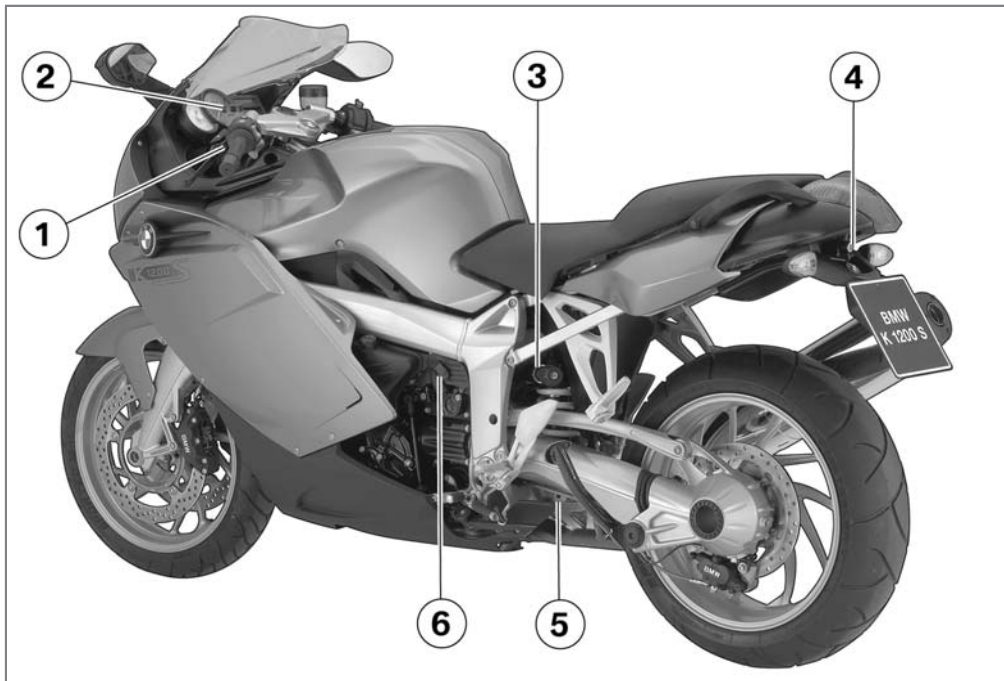
## 現状

BMW Motorrad の高い安全性および品質は、デザイン、装備、アクセサリーに関する絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。また、そのような誤りを完全に排除することもできません。したがって、記載内容や図、説明について責任を負いかねる場合がありますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。



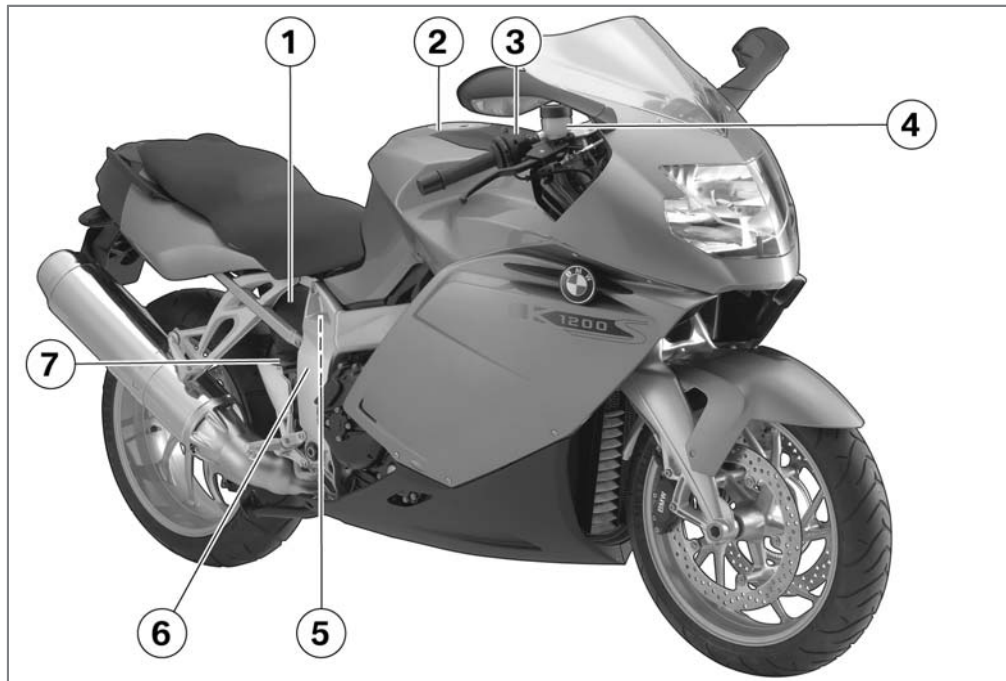
**全体図**

左側面 .....	11
右側面 .....	13
シート下 .....	14
左側ハンドルのスイッチ .....	15
右側ハンドルのスイッチ .....	16
メーターパネル .....	17
ヘッドライト .....	18



## 左側面

- 1 光軸を調整する (⇒ 49)
- 2 クラッチフルードリザーバータンク (⇒ 89)
- 3 リヤスプリングプリロードを調整する (⇒ 54)
- 4 シートロック ( テールライト下 ) (⇒ 50)
- 5 リヤショックアブソーバーを調整する (⇒ 55)
- 6 電源ソケット (⇒ 74)

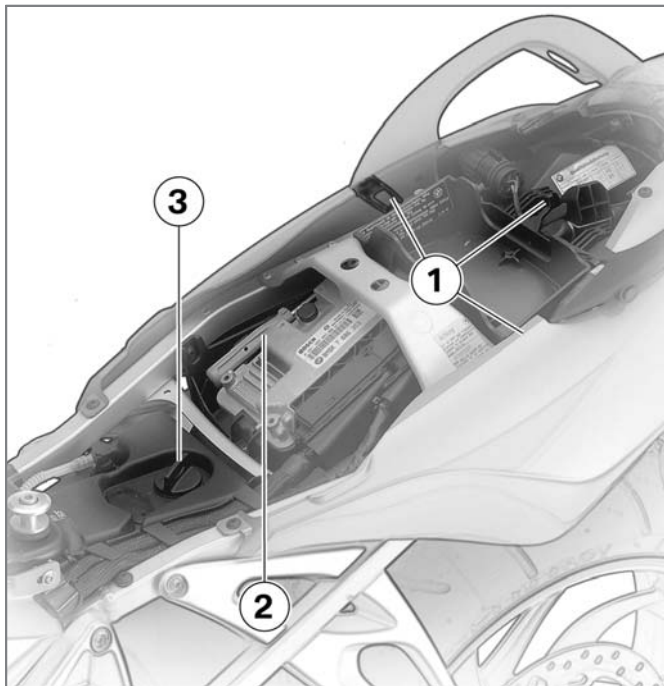


## 右側面

- 1 エンジンオイルレベル表示  
(⇒ 83)
- 2 フューエルタンクフィルター  
ネット (⇒ 66)
- 3 バッテリー収納部 (⇒ 114)
- 4 フロントブレーキフルード  
リザーバータンク (⇒ 87)
- 5 型式プレート (リヤクロス  
パイプ部)
- 6 フレーム番号 (右サイド  
フェアリング前側)
- 7 リヤブレーキフルードリ  
ザーバータンク (⇒ 88)

## シート下

- 1 ヘルメットホルダー  
(⇒ 52)
- 2 ツールキット (⇒ 82)
- 3 エンジンオイルフィルター  
ネック (⇒ 84)





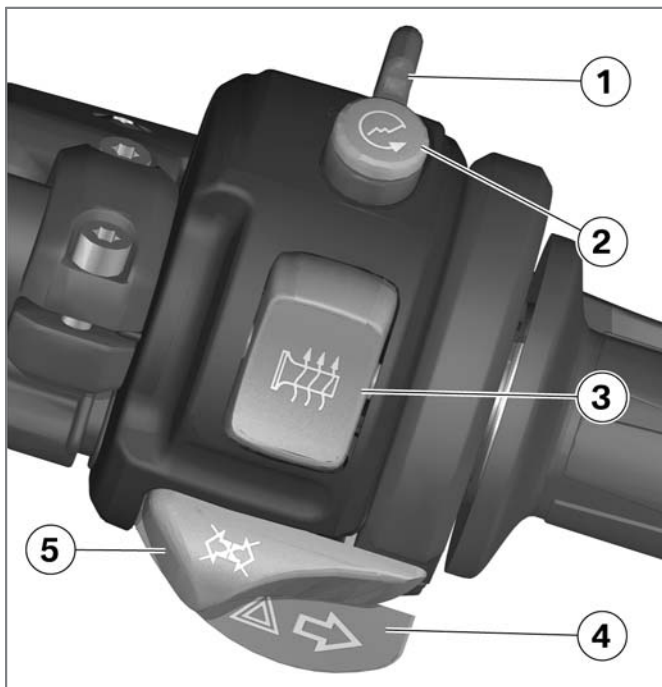


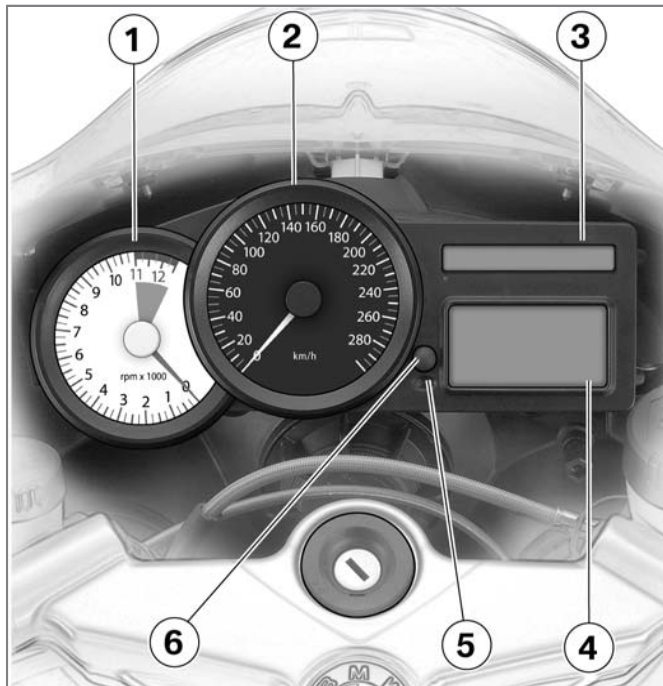
## 左側ハンドルのスイッチ

- 1 オドメーター用 INFO ボタン (⇒ 39), オンボードコンピューター用 INFO ボタン<sup>OE</sup> (⇒ 42)
- 2 ESA ボタン<sup>OE</sup> (⇒ 56)
- 3 ホーンスイッチ
- 4 左側ウインカースイッチ (⇒ 49), ハザードランプスイッチ (⇒ 38)
- 5 ハイビーム / パッシングスイッチ (⇒ 48)

## 右側ハンドルのスイッチ

- 1 イグニッションキルスイッチ (⇒ 45)
- 2 スターターボタン (⇒ 62)
- 3 グリップヒータースイッチOE (⇒ 46)
- 4 右側ウインカースイッチ (⇒ 50), ハザードランプスイッチ (⇒ 38)
- 5 ウインカーキャンセルスイッチ (⇒ 50), ハザードランプキャンセルスイッチ (⇒ 38)





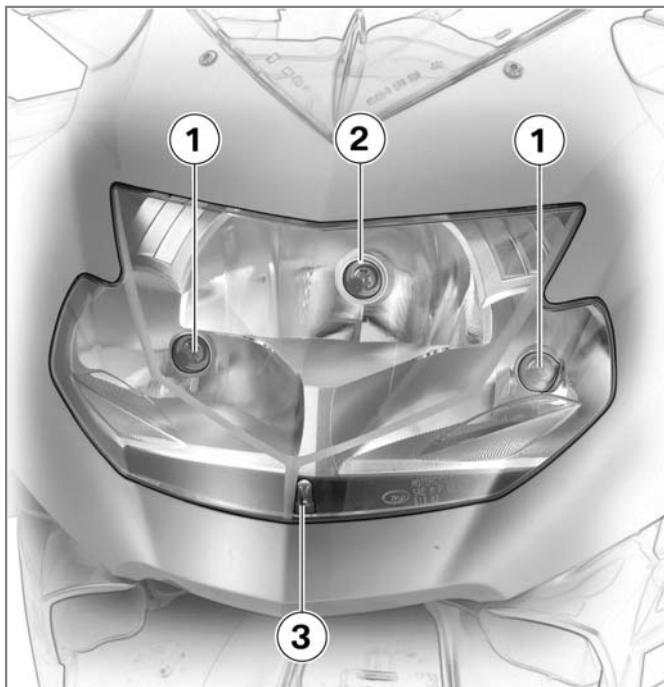
## メーターパネル

- 1 タコメーター
- 2 スピードメーター
- 3 警告灯 / インジケーター  
(⇒ 20)
- 4 マルチファンクションディスプレイ  
(⇒ 20)
- 5 DWA (OE) 警告灯およびメーターパネルライトセンサー
- 6 オドメーター操作部  
(⇒ 39)

▶ メーターパネルライトには、昼夜自動切替え機能が装備されています。◀

## ヘッドライト

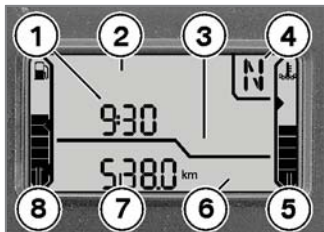
- 1 ハイビーム
- 2 ロービーム
- 3 ポジション / パーキング  
ライトバルブ



**表示**

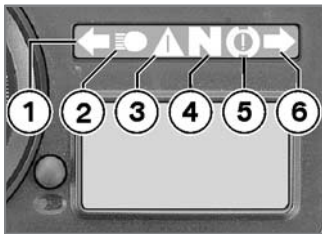
マルチファンクションディスプレイ	
プレイ .....	20
警告灯 / インジケーター .....	20
ABS 警告灯 .....	20
ファンクションインジケーター ....	20
警告表示一般 .....	21
タイヤ空気圧コントロール ( RDC )	
警告表示 <sup>OE</sup> .....	28
ABS 警告表示 .....	31

## マルチファンクション ディスプレイ



- 1 時計 (⇒ 40), RDC 表示部<sup>OE</sup> (⇒ 42), オイルレベル注意表示<sup>OE</sup> (⇒ 45)
- 2 警告マーク表示 (⇒ 21)
- 3 オンボードコンピューター表示部<sup>OE</sup> (⇒ 42)
- 4 ギヤインジケーター (⇒ 20)
- 5 水温計表示 (⇒ 21)
- 6 ESA 表示部<sup>OE</sup> (⇒ 56)
- 7 オドメーター表示 (⇒ 39)
- 8 フューエルレベル表示 (⇒ 20)


## 警告灯 / インジケーター



- 1 左側ウインカーインジケーター
- 2 ハイビームインジケーター
- 3 ジェネラル警告灯
- 4 ニュートラルインジケーター
- 5 ABS 警告灯
- 6 右側ウインカーインジケーター


## ABS 警告灯

国別仕様により、ABS 警告灯の表示が異なる場合があります。

 考えられる国別仕様。

## ファンクションインジケーター

### フューエルレベル

 フューエルタンクマークの下の横バーは、フューエル残量を示しています。

## ギヤ

**N** 現在のギヤ設定が表示されます。ギヤが入っていない場合、ギヤインジケーターは N を示し、ニュートラルインジケーターが点灯します。

## 冷却水温警告灯



温度計マークの下にある横のバーは、クーラント温度を示します。

## 警告表示一般

### 表示

一般的な警告は、マルチファンクションディスプレイに警告灯または注意とマークにより表示されます。場合によっては、さらにジェネラル警告灯（赤または黄）が点灯します。複数の警告がある場合は、関連するすべてのインジケータおよび警告マークが表示されます。警告は交互に表示されます。

## 警告表示一覧 表示

## 意味

	点灯する (黄)		警告 EWS! が表示される	EWS 作動 (⇒ 24)
	点灯する (黄)		警告 FUEL! が点滅する	燃料がリザーブ容量に達している (⇒ 24)
	点灯する (赤)		温度表示が点滅する	クーラント温度が高すぎる (⇒ 24)
	点灯する (黄)		が表示される	エンジンマネジメントシステム (⇒ 24)
	点滅 (赤) する		が表示される	エンジンオイルプレッシャーが不十分である (⇒ 25)
			が警告 CHECK OIL と共に表示される	エンジンオイルレベルが低すぎる (⇒ 26)
	点灯する (赤)		が表示される	バッテリー充電が不十分である (⇒ 26)
	点灯する (黄)		警告 LAMPR! が表示される	リヤライトの故障 (⇒ 26)
			警告 LAMPF! が表示される	フロントライトの故障 (⇒ 27)



## 表示

## 意味

	点灯する (黄)	警告 LAMPS! が表示される	バルブの故障 (⇒ 27)
			が表示される 氷結警告 (⇒ 27)
		警告 DWALO! が表示される	DWA バッテリー (OE) が弱っている (⇒ 27)
	点灯する (黄)	警告 DWA! が表示される	DWA バッテリー (OE) が空になっている (⇒ 28)

## EWS 作動




ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。

- 警告 EWS! が表示されます。使用されたキーに始動する権限がないか、キーとエンジンマネジメントシステム間の通信が妨げられています。
- イグニッションキー付近にある他のキーを外します。
  - スペアキーを使用します。
  - 故障したキーは、BMW Motorrad ディーラーで交換してください。

## 燃料がリザーブ容量に達している



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。

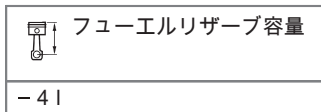
- 警告 FUEL! が点滅します。
-  燃料が不足していると、ミスファイアが発生したり、突然エンジンが停止したりします。ミスファイアの発生は触媒コンバーターを損傷し、エン

ジンの突然の停止は事故を引き起こすおそれがあります。フューエルタンクが空になるまで走行しないこと。◀



予測走行可能距離が表示されます。◀

フューエルタンクには、リザーブ用フューエルがまだ最大容量入っています。



- 給油 (➡ 66)

## クーラント温度が高すぎる



ジェネラル警告灯（赤）が点灯します。



温度表示が点滅します。



オーバーヒートした状態で走行すると、エンジンの損傷を招くおそれがあります。

必ず下記の処置に従ってください。◀

クーラント温度が高すぎます。

- 可能であれば、エンジンを冷ますためにパーシャルロード域で走行します。
- 渋滞中はエンジンを停止します。ただし、ラジエーターファンの作動を止めないために、イグニッションは ON のままにしておきます。
- クーラント温度が頻繁に高くなりすぎる場合には、できるかぎり早く BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

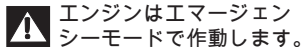
## エンジンマネジメントシステム



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。



エンジンマネジメントシステムマークが表示されます。



エンジンはエマーゼンシーモードで作動します。エンジン出力が低下している場合があります。特に追い越しをかけるときに、危険な走行状態に陥るおそれがあります。

低下したエンジン出力に合わせた走行方法にしてください。◀

エンジンマネジメントシステムコントロールユニットに故障が発生しました。最悪の場合、エンジンが停止し、その後始動できなくなります。その他の場合には、エンジンはエマーゼンシーモードで作動します。

- 走行を続けることは可能ですが、通常どおりのエンジン性能は発揮できない可能性があります。
- できる限り早く BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

### エンジンオイルプレッシャーが不十分である



ジェネラル警告灯（赤）が点滅します。



エンジンオイルプレッシャーマークが表示されます。

潤滑オイルサーキット内オイル圧が低すぎます。警告灯が点灯したら、直ちに停車してエンジンを切ってください。



エンジンオイルプレッシャーの不足に関する警告は、オイルレベルの点検機能を果たすものではありません。正しいエンジンオイルレベルは、オイルレベル点検窓でのみ点検できます。◀

エンジンオイルプレッシャーが不十分であるという警告の原因は、エンジンオイルレベルが低すぎることにある可能性があります。

- エンジンオイルレベルを点検する (⇒ 83)
- オイルレベルが低すぎる場合：
- エンジンオイルを補充する (⇒ 84)

エンジンオイルレベルが正しいにもかかわらず、「エンジンオイルプレッシャー」の警告が表示される場合：




エンジンオイルレベルの不足以外にも、エンジン内の他の問題により、エンジンオイルプレッシャーの不足に関する警告が表示されることがあります。このような場合に走行を続けると、エンジンが損傷するおそれがあります。

エンジンオイルレベルが正しいにもかかわらず、この警告が現れる場合は、それ以上走行しないでください。◀

- 走行を続けしないでください。
- できる限り早く BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

## エンジンオイルレベルが低すぎる

 「オイルレベル」マークが警告 CHECK OIL と共に表示されます。

電子式オイルレベルセンサーがエンジンオイルレベルが低すぎることを検知しました。

エンジンオイルレベルが正しいかどうかは、オイルレベル点検窓でのみ確認できます。次の燃料補給時に：


- エンジンオイルレベルを点検する (⇒ 83)
- オイルレベルが低すぎる場合：
- エンジンオイルを補充する (⇒ 84)


オイルレベル点検窓でオイルレベルが正常であることが確認されたにもかかわらず、ディスプレイに「オイルレベルを点検します」の表示が出る場合には、オイルレベルセンサーが故障している可能性があります。


- BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼してください。

## バッテリーチャージが不十分である

 ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。

 バッテリーチャージマークが表示されます。

 バッテリーが放電すると、突然エンジンが停止し、それにより危険な走行状態に陥るおそれがあります。故障はできる限り早く取り除いてください。◀

 バッテリーの充電を行わずに、そのまま走行を続けた場合、過放電が発生してバッテリーを破損することがあります。できるかぎり走行しないでください。◀


バッテリーが充電されていません。

- バッテリーが空になるまで、走行を続けることは可能です。ただし、エンジンが突然停止し、バッテリーが過放電して破損するおそれがあります。
- BMW Motorrad ディーラーにできるだけ早く故障の修理を依頼してください。

## リヤライトの故障

 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

警告 LAMPR! が表示されます。

 バルブが故障していると、他の走行者などから見えにくくなり、ライダーとモーターサイクルが危険にさらされることとなります。故障したバルブはできるかぎり早く交換してください。適切なスペアのバルブを常備しておくといいです。◀

テールライトバルブまたはブレーキライトバルブが故障しています。

- ブレーキライト / テールライトバルブを交換する (⇒ 106)

### フロントライトの故障

警告 LAMPF! が表示されます。



バルブが故障していると、他の走行者などから見えにくくなり、ライダーとモーターサイクルが危険にさらされることとなります。

故障したバルブはできるかぎり早く交換してください。適切なスペアのバルブを常備しておくといいです。◀

ロービーム、ハイビーム、ポジション / パーキングライト、ウインカーのいずれかのバルブが切れています。

- ロービームバルブを交換する (⇒ 102)
- ハイビームバルブを交換する (⇒ 104)

- ポジション / パーキングライトバルブを交換する (⇒ 106)
- フロントウインカーバルブを交換する (⇒ 108)
- リヤウインカーバルブを交換する (⇒ 110)

### バルブの故障



ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

警告 LAMPS! が表示されます。



バルブが故障していると、他の走行者などから見えにくくなり、ライダーとモーターサイクルが危険にさらされることとなります。

故障したバルブはできるかぎり早く交換してください。適切なスペアのバルブを常備しておくといいです。◀

バルブの故障が複合して発生しています。

- さらに、前述の詳しい故障説明をお読みください。

### 氷結警告



氷結警告マークが表示されます。

モーターサイクル付近で測定された外気温度は 3°C 以下です。



氷結警告には、測定温度時には 3°C を超えていた路面であっても凍結する可能性のあることが含まれています。外気温度が低い場合は常に、よく前方に注意して走行してください。橋の上を走行する際や、陰になった暗い路面を走行する際には特に気をつけてください。◀

- よく注意して走行してください。

### DWA バッテリー (OE) が弱っている

警告 DWALO! が表示されます。



このエラーメッセージは走行前点検後に短時間表示されます。◀

DWA バッテリーがフル充電されていません。DWA の機能が保証されるのは、バッテリーのターミナルを外している場合、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。

**DWA バッテリー (OE) が空になっている**

 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

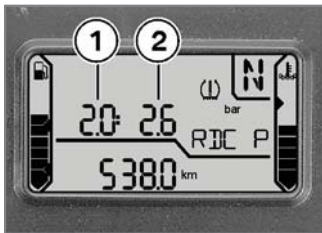
警告 DWA! が表示されます。

DWA バッテリーが充電されていません。DWA の機能は、バッテリーのターミナルを外している場合、保証されません。

- BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。

## タイヤ空気圧コントロール (RDC) 警告表示<sup>OE</sup>









### RDC 警告表示



時計またはオンボードコンピュータの表示フィールドには、フロントホイールの空気圧 1 およびリアホイールの空気圧 2 が注意 RDC と共に表示されます。空気圧が限界値に達すると点滅します。

値が許容限界域にある場合は、さらにジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。算出されたタイヤ空気圧が許容範囲外にある場合は、ジェネラル警告灯 (赤) が点滅します。

## 警告表示一覧 表示

		意味
 点灯する (黄)	 空気圧が限界値に達すると点滅する	タイヤ空気圧が許容限界域にある (⇒ 30)
 点滅 (赤) する	 空気圧が限界値に達すると点滅する	タイヤ空気圧が許容範囲外にある (⇒ 30)
	-- または -- -- が表示される	伝送障害 (⇒ 30)
 点灯する (黄)	 が -- または -- -- と共に表示される	センサーの故障またはシステムエラー (⇒ 31)
 点灯する (黄)	 が注意 RDC! と共に表示される	バッテリータイヤ空気圧センサーが弱い (⇒ 31)

### タイヤ空気圧が許容限界域にある



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。



空気圧が限界値に達すると点滅します。

測定されたタイヤ空気圧は許容限界域にあります。

- Rider's Manual 裏表紙の記載に従って、タイヤ空気圧を調整します。

▶ 裏表紙の圧力表示は、タイヤ空気温度 20 °C を想定しています。タイヤ温度が異なる場合にも空気圧を適合させるため、以下を実施してください：Rider's Manual に記載されている規定値と RDC システムで求められた数値の偏差を算出してください。タイヤ空気圧を、この偏差分、空気圧テスターを使用して調整してください（ガソリンスタンドなどで）。◀

### タイヤ空気圧が許容範囲外にある



ジェネラル警告灯（赤）が点滅します。



空気圧が限界値に達すると点滅します。

測定されたタイヤ空気圧は許容範囲外にあります。

- タイヤが損傷していないか、走行に適した状態か点検します。タイヤがまだ使用可能な状態の場合：



⚠ タイヤ空気圧が適正でないと、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼします。タイヤ空気圧が適正でない場合、必ずその状態に合わせた走行スタイルをとってください。◀

- できるだけ早く、タイヤ空気圧を修正します。
- BMW Motorrad ディーラーに、タイヤが損傷していないか、点検を依頼してください。

タイヤの走行性に関して安全が確認できない場合：

- 走行を続けしないでください。
- エマージェンシーサービスに知らせます。
- BMW Motorrad ディーラーに、タイヤが損傷していないか、点検を依頼してください。

### 伝送障害

-- または --- が表示されます。車速が約 30 km/h の境界値を超えていませんでした。RDC センサーは、速度がこの境界値 (➡ 68) を超えると信号を発信します。

- RDC メーターパネルを、高速走行時に点検します。さらにジェネラル警告灯が点灯する場合は、障害が常時発生していることになります。この場合：
- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。



RDC センサーへの無線接続に障害が発生しています。原因としては、周辺に無線機器 / システム類があり、これらが RDC コントロールユニットとセンサー間の接続を妨害している、ということが考えられます。

- RDC メーターパネルを、別の環境 / 状況で点検します。さらにジェネラル警告灯が点灯する場合は、障害が常時発生していることとなります。この場合：
- BMW Motorrad デイラーに故障の修理を依頼してください。

### センサーの故障またはシステムエラー



ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。



が -- または --- と共に表示されます。

RDC センサー非装備のタイヤが装着されています。

- ホイールセットに RDC センサーを後付けします。

1 つまたは 2 つの RDC センサーが故障しています。

- BMW Motorrad デイラーに故障の修理を依頼してください。

システムエラーが発生しています。

- BMW Motorrad デイラーに故障の修理を依頼してください。

### バッテリータイヤ空気圧センサーが弱い



ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。



が注意 RDC! と共に表示されます。

このエラーメッセージは走行前点検後に短時間表示されます。◀

タイヤ空気圧センサーのバッテリーがフル充電されていません。タイヤ空気圧コントロール機能が保証されるのは、ご制限された時間内のみです。

- BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。

## ABS 警告表示

### 表示



ABS の警告は、ABS 警告灯により表示されます。この警告灯は常時点灯するか、あるいは点滅します。

国別仕様により、ABS 警告灯の表示が異なる場合があります。



考えられる国別仕様。

## 警告表示一覧 表示

## 意味



点滅する

自己診断が終了していない (⇒ 33)



点灯する

ABS の故障 (⇒ 33)

### 自己診断が終了していない



ABS 警告灯が点滅します。

- できる限り早く BMW Motorrad デイラーに故障の修理を依頼してください。

自己診断が終了していないため、ABS 機能は使用できません。ABS センサーを点検するには、モーターサイクルを数メートル走行させます。

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまで ABS 機能が使用できないことに注意してください。

### ABS の故障



ABS 警告灯が点灯します。

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。ABS 機能は使用できません。

- 走行を続行することは可能です。ABS 機能が使用できないことに注意してください。ABS の故障を引き起こすおそれのある状況に関するその他の情報に注意してください (➡ 71)。



## 操作

イグニッションスイッチとステアリングロック .....	36	シート .....	50
電子式イモビライザー .....	37	ヘルメットホルダー .....	52
ハザードランプ .....	38	ラゲッジループ .....	53
オドメーター .....	39	ミラー .....	54
時計 .....	40	スプリングプリロード .....	54
タイヤ空気圧コントロール ( RDC ) <sup>OE</sup> .....	42	ショックアブソーバー .....	55
オンボードコンピューター <sup>OE</sup> .....	42	電子調整式サスペンション ( ESA ) <sup>OE</sup> .....	56
イグニッションキルスイッチ .....	45	タイヤ .....	58
グリップヒーター <sup>OE</sup> .....	46		
クラッチ .....	46		
ブレーキ .....	47		
ライト .....	48		
ヘッドライト .....	49		
ウインカー .....	49		

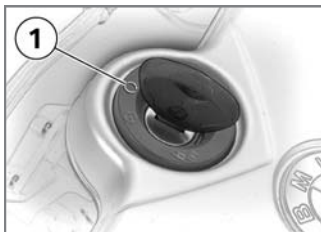
## イグニッションスイッチ とステアリングロック

### キー

キーはマスターとスペアの 2 本が付属しております。キーを紛失した場合は、電子式イモビライザー (EWS) (⇒ 37) の注意事項に従ってください。

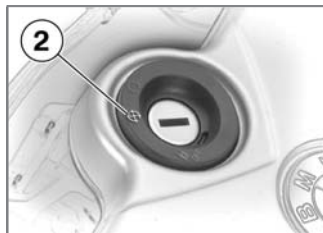
▶ イグニッションスイッチ、ステアリングロック、フューエルタンクキャップ、シートロックは、1 本の同じキーで操作できます。ご要望により、ケース (アクセサリとして入手可) も同じキーで操作するようにできます。◀

### イグニッションを ON にする



- キーをポジション 1 に回します。
- » ポジション / パーキングライトとすべての電気回路が ON になります。
- » エンジンを始動することができません。
- » 走行前点検が行われます。(⇒ 63)
- » ABS 自己診断が実施されます。(⇒ 63)

### イグニッションスイッチを OFF にする



- キーをポジション 2 に回します。
- » ライトが OFF になります。
- » ステアリングロックが解除されます。
- » キーを抜き取ることができません。
- » アクセサリは限られた時間内で使用できます。
- » バッテリーの充電は、電源ソケットを介して行うことができます。

## ステアリングをロックする



- ハンドルバーを少し動かしながら、キーをポジション 3 に回します。
- » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
- » ステアリングがロックされます。
- » キーを抜き取ることができます。

**!** モーターサイクルをサイドスタンドで立てた場合、ハンドルバーを左右のどちらに回すのがよいかは、路面状態によって異なります。ただし平坦な路面では、ハンドルバーを左に回したほうが、右に回した場合よりもモーターサイクルが安定します。

平坦な路面では、ステアリングをロックする際に、必ずハンドルバーを左に回してください。◀

- ハンドルバーを左または右に回します。

## 電子式イモビライザー

### 盗難防止

電子式イモビライザーは、そのために特に何かを設定したり、起動させたりする必要なく、あなたの BMW モーターサイクルの盗難防止に役立てることができます。電子式イモビライザーは、そのモーターサイクルに付属しているキーを使用した場合にのみ、エンジンが始動できるようにします。また、キーを紛失したときなどには、BMW Motorrad デイラーでそのキーの使用を停止することができます。

ます。使用停止になったキーでは、エンジン始動はできません。

### キーの電子機器

キーには電子部品が内蔵されています。モーターサイクルの電子機器は、イグニッションロックのリングアンテナを介して、キーに内蔵されている電子機器と、車両ごとに固有の絶えず変化している信号を交換しています。キーが「権限あり」と認識されてはじめて、エンジンマネジメントシステムコントロールユニットが、エンジン始動を許可します。

▶ スペアキーが始動用イグニッションキーと一緒にキーリングなどで取り付けられていると、内蔵の電子機器が「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。マルチファンクションディスプレイには警告 EWS が表示されます。

スペアキーはイグニッションキーと必ず別に保管してください。◀

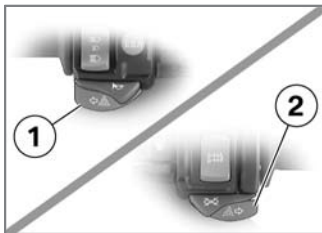
## 代替および追加のスペアキー

代替および追加のスペアキーは BMW Motorrad デイラーを介してのみ、入手できます。キーはセーフティシステムの一部ですので、デイラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。紛失したキーの使用停止を希望される場合には、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーをお渡しいただく必要があります。いったん使用停止にしたキーは、再び使用可能にすることができます。

## ハザードランプ

### ハザードランプを点滅させる

- イグニッションを ON にします。



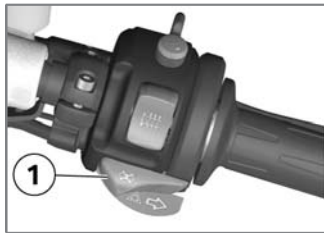
- 左ウインカースイッチ 1 と右ウインカースイッチ 2 を同時に押します。

▶ ハザードランプはバッテリーを消費します。ハザードランプは必要な場合にだけ使用するようしてください。◀

▶ イグニッションを ON にした状態で片方のウインカースイッチを押すと、押している間はハザードランプ機能がウインカー機能に代わります。ウインカースイッチを押すのをやめると、再びハザードランプ機能が作動します。◀

- ▶ ハザードランプが点滅します。
- ▶ 左右のウインカーインジケータが点滅します。
- イグニッションを OFF にします。
- ▶ ハザードランプは点滅したままになります。
- ▶ 左右のウインカーインジケータが OFF になります。

### ハザードランプを OFF にする



- ウインカーキャンセルスイッチ 1 を操作します。
- ▶ ハザードランプが OFF になります。



## オドメーター

### オドメーターの操作



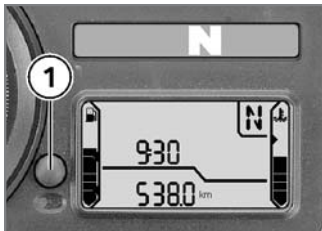
オンボードコンピューター非装備車両および RDC 非装備車両では、以下に記述されているオドメーターの操作を INFO ボタン 1 でも行うことができます。

### 表示を選択する

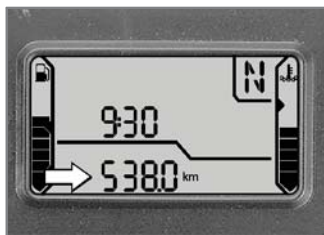
- イグニッションを ON にします。

▶ イグニッションを ON にすると、イグニッションを最後に OFF にしたときのオドメーターの情報が、マルチファンク

ションディスプレイに表示されます。◀



- ボタン 1 を短く 1 回ずつ押します。

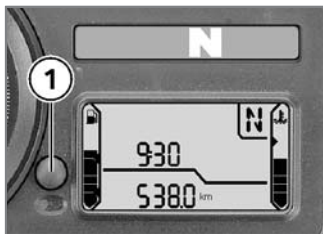


オドメーターの表示部では、現在の数値から始まり、次の順番で表示が切り替わります：

- － 総走行距離
- － トリップメーター 1 ( Trip I )
- － トリップメーター 2 ( Trip II )

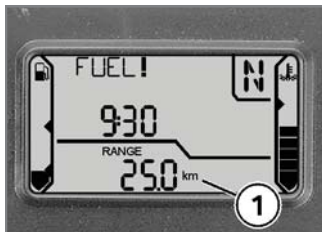
### トリップメーターをリセットする

- イグニッションを ON にします。
- 希望のトリップメーターを選択します。



- 表示が変わるまで、ボタン 1 を押し続けます。
- » トリップメーターがゼロにセットされます。

## 走行可能距離



走行可能距離 1 は、残りのフューエルで、あとどのくらい走行できるかを示します。オンボードコンピューター非装備車両の場合、走行可能距離は燃料がリザーブ容量に達すると表示されます。算出は、平均燃費およびフューエルレベルに基づいて行われます。


燃料補給時には、何リットルかの燃料が補給されると初めて、燃料量が記録されます。

▶ 算出された走行可能距離は、概算数値です。そのため、BMW Motorrad では表

示された走行可能距離を完全に走行しきらないことをお勧めします。◀

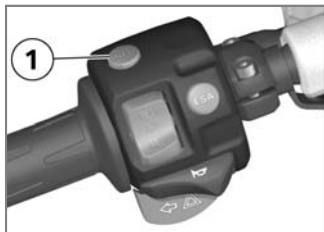
## 時計

### 時計を調整する

 走行中に時刻を調整すると、事故につながるおそれがあります。

時刻の調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀

- イグニッションを ON にします。

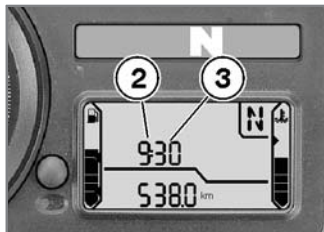


オンボードコンピューター—OE  
あり



- 総走行距離が表示されるまで、INFO ボタン 1 を繰り返し操作します。

- 時計が表示されるまで、INFO ボタン 1 を繰り返し操作します。◁



- 表示が変わるまで、INFO ボタンを押し続けます。
  - ≫ 時間表示 2 が点滅し始めます。
- INFO ボタンを押します。
  - ≫ ボタンを押すごとに時間が進みます。
- 表示が変わるまで、INFO ボタンを押し続けます。
  - ≫ 分表示 3 が点滅し始めます。
- INFO ボタンを押します。
  - ≫ ボタンを押すごとに分が進みます。
- 表示が変わるまで、INFO ボタンを押し続けます。
  - ≫ 表示が点滅しなくなります。
  - ≫ 時計の調整が終了します。

## タイヤ空気圧コントロール (RDC) OE

### タイヤ空気圧を表示する

- イグニッションを ON にします。



- ディスプレイにタイヤ空気圧が表示されるまで、INFO ボタン 1 を繰り返し押します。

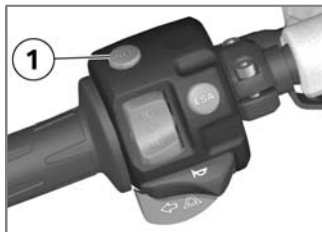


タイヤ空気圧は時計の表示と交互に表示されます。左の数値はフロントホイールの空気圧を、右の数値はリヤホイールの空気圧を示しています。オンボードコンピューター装備車の場合、タイヤ空気圧がオンボードコンピューターの補助的な値として表示されます。

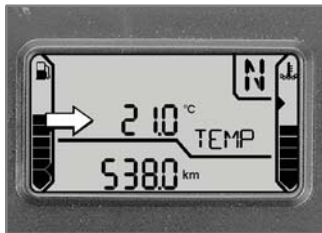
### オンボードコンピューターOE

#### 表示を選択する

- イグニッションを ON にします。



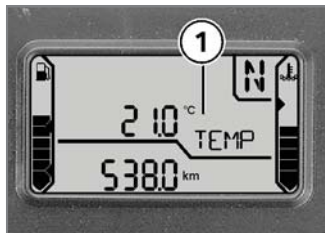
- INFO ボタン 1 を 1 回ずつ押します。




オンボードコンピューターの表示部では、現在の数値から始まり、次の順番で表示が切り替わります：

- 外気温度
- 平均速度
- 平均燃費
- 走行可能距離
- オイルレベル注意
- タイヤ空気圧 ( OE )

## 外気温度



外気温度表示 1 はエンジン作動時のみ行われ、それ以外の場合は --- が表示されます。

 外気温度が 3 °C を下回ると、氷結警告が表示されます。この温度を最初に下回った時点で、ディスプレイの設定状態に関わらず自動的に温度表

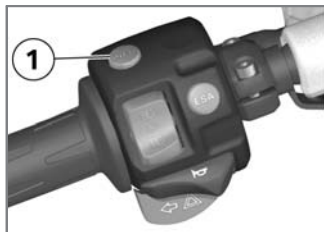
示に切り替わります。この表示は、別の表示を選択するまで点滅します。

## 平均速度の算出



平均速度 1 は、最後に「リセット」を行ってからの経過時間を基にして計算されます。途中、エンジンを停止していた時間は含まれません。

## 平均速度をリセットする



- ディスプレイに平均速度が表示されるまで、INFO ボタン 1 を繰り返し押します。
- 「リセット」する場合は、表示が変わるまで INFO ボタンを押し続けます。
- » ディスプレイに「--- km/h」が表示される

## 平均燃費の算出



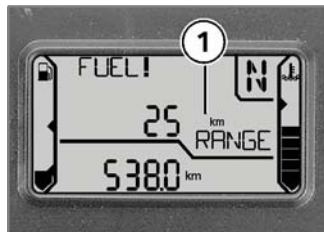
平均燃費 1 は、最後に「リセット」を行ってからの燃料消費量と走行距離を基にして計算されます。

## 平均燃費をリセットする



- ディスプレイに平均燃費が表示されるまで、INFO ボタン 1 を繰り返し押します。
  - 「リセット」する場合は、表示が変わるまで INFO ボタンを押し続けます。
- » ディスプレイに「--. l/100 km」が表示されます。

## 走行可能距離



走行可能距離 (➡ 40) の機能説明は、走行可能距離表示にも適用されます。ただし、走行可能距離 1 は、リザーブ容量に達する前でも呼び出すことができます。走行可能距離の計算には、専用の平均燃費が使用されます。これは表示に呼び出し可能な数値とは必ずしも一致しません。

▶ 算出された走行可能距離は、概算数値です。そのため、BMW Motorrad は、表示されている走行可能距離を完全

に走行しきらないことをお勧めします。◀

## オイルレベル注意



オイルレベル注意 1 では、エンジンオイルレベルに関する情報が提供されます。

オイルレベルの点検には、以下の条件が満たされている必要があります。

- エンジンを 10 秒間以上アイドルリングさせていること
- エンジンが作動温度に達していること

- サイドスタンドが格納されていること

表示の意味：

OK：オイルレベルは正常です。

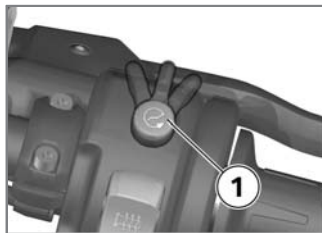
CHECK：オイルレベルを点検します。

---：オイルレベルを測定できません（前述の条件が満たされていません）。

次にイグニッションを ON にしたときには、最後に測定されたレベルが 5 秒間表示されます。

▶ オイル点検窓のオイルレベルが正常であるにもかかわらず、ディスプレイに絶えず「オイルレベルの点検」が表示される場合には、オイルレベルセンサーが故障しているおそれがあります。この場合、BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。◀

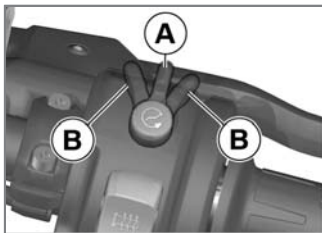
## イグニッションキルスイッチ



1 イグニッションキルスイッチ

**!** 走行中にイグニッションキルスイッチを操作すると、リヤホイールがロックし、転倒するおそれがあります。走行中はイグニッションキルスイッチを操作しないでください。◀

イグニッションキルスイッチにより、エンジンをすばやく簡単に停止することができます。



- A 通常の操作ポジション  
B エンジン停止

▶ エンジンは、通常の操作ポジションでのみ始動できます。◀

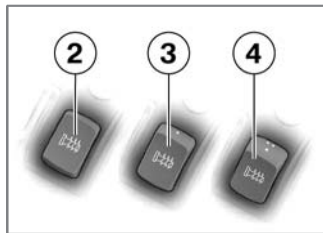
## グリップヒーターOE



- 1 グリップヒータースイッチ

グリップを2段階で暖めることができます。グリップヒーターは、エンジン作動時にのみ作動させることができます。

▶ 低速走行時には、グリップヒーターにより高まった消費電力がバッテリーの放電を招くことがあります。バッテリーの充電が十分でない場合、始動能力を保持するために、グリップヒーターがOFFになります。◀



- 2 ヒーター OFF  
3 ヒーター出力 50% (点が1つ見える)  
4 ヒーター出力 100% (点が3つ見える)

## クラッチ

### クラッチレバーを調整する

**!** クラッチフルードリザーバータンクの位置を変更すると、エアがクラッチシステムに入り込むおそれがあります。ハンドルパーフィッティングもハンドルも回さないでください。◀



**!** 走行中にクラッチレバーを調整すると、事故につながるおそれがあります。クラッチレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



● アジャストスクリュー 1 を時計回りに回す。

▷ アジャストスクリューにはストップポジションがあり、クラッチレバーを前に押し、簡単に回すことができます。◀

» ハンドルおよびクラッチレバー間のギャップが大きくなる。

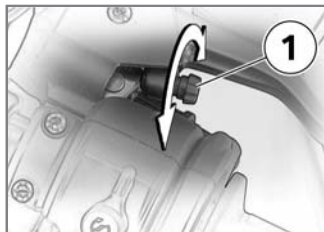
● アジャストスクリュー 1 を反時計回りに回す。  
» ハンドルおよびクラッチレバー間のギャップが小さくなる。

## ブレーキ

### ブレーキレバーを調整する

**!** ブレーキフルードリザーバータンクの位置を変更すると、エアがブレーキシステムに入り込むおそれがあります。ハンドルパーフィッティングもハンドルも回さないでください。◀

**!** 走行中にブレーキレバーを調整すると、事故につながるおそれがあります。ブレーキレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



● アジャストスクリュー 1 を時計回りに回す。

▷ アジャストスクリューにはストップポジションがあり、ブレーキレバーを前に押し、簡単に回すことができます。◀

» ハンドルおよびブレーキレバー間のギャップが大きくなる。  
● アジャストスクリュー 1 を反時計回りに回す。  
» ハンドルおよびブレーキレバー間のギャップが小さくなる。

## ライト

### ポジションライトを点灯する

イグニッションを ON にすると、ポジションライトは自動的に点灯します。

▶ ポジションライト / パーキングライトはバッテリーを消費します。必要な場合にのみ、イグニッションを ON にしてください。◀

### ロービームを点灯します。

エンジンを始動させると、ロービームは自動的に点灯します。

▶ イグニッションを ON にして、ハイビームあるいはパッシングスイッチを操作すると、エンジンを停止した状態でもライトを点灯させることができます。◀

### ハイビームを点灯する



- ハイビームスイッチ 1 上側を押します。
- » ハイビームが点灯します。
- ハイビームスイッチ 1 を中央位置に調整します。
- » ハイビームが消灯します。
- ハイビームスイッチ 1 下側を押します。
- » ハイビームを、操作時間に応じて点灯させます (パッシングライト)。

### パーキングライトを点灯する

- イグニッションを OFF にします。

▶ イグニッションを OFF にした直後にのみ、パーキングライトを点灯させることができます。◀



- パーキングライトが点灯するまで、左ウインカースイッチ 1 を押します。

### パーキングライトを消灯する

- イグニッションを ON にした後、再び OFF にします。
- » パーキングライトが消灯します。

## ヘッドライト

### 右側 / 左側通行の国でのヘッドライトの調整

**!** 市販のマスキングテープはプラスチックライトカバーを損傷します。

プラスチックライトカバーの損傷を防ぐため、BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。◀

モーターサイクルが反対側通行の国へ入ると、非対称のロービームが対向車を眩惑します。それぞれの状況に合わせたヘッドライトの調整は、BMW Motorrad デイラーにご依頼ください。

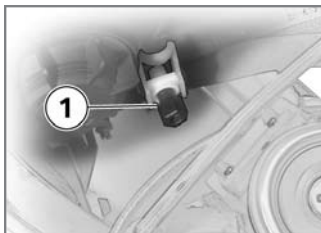
### 光軸およびスプリングプリロード

通常、積載条件に応じてスプリングプリロードを調整することにより、光軸は常に一定になります。

ただし、非常に高い負荷がかかる場合には、スプリングプリロードを適切に調整することができません。その場合は、光軸を重量に応じて調整してください。

▶ ヘッドライトの基本調整が正しいかどうか疑わしい場合は、BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。◀

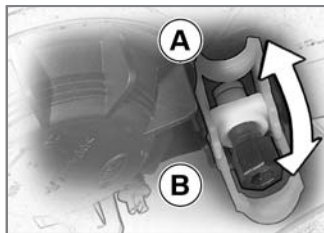
### 光軸の調整



#### 1 光軸の調整

非常に高い負荷がかかる場合、スプリングプリロードを適切に調整することができません。対

向車を眩惑しないようにするため、スイングレバーを調節することにより、ヘッドライトの調整を修正することができます。



A 通常の光軸

B 負荷が高い場合の光軸

## ウインカー

### 左ウインカーを点滅させる

- イグニッションを ON にします。



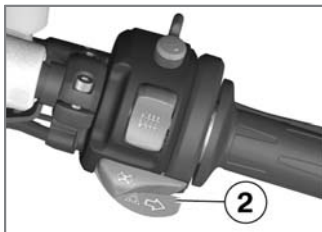
- 左側ウインカースイッチ 1 を押します。

▶ 約 10 秒間、または、約 200 m の距離を走行すると、ウインカーは自動的に OFF になります。◀

- » 左側ウインカーが点滅します。
- » 左側ウインカーインジケーターが点滅します。

### 右ウインカーを点滅させる

- イグニッションを ON にします。

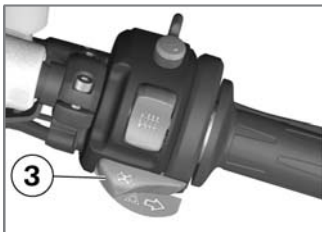


- 右ウインカースイッチ 2 を操作します。

▶ 約 10 秒間、または、約 200 m の距離を走行すると、ウインカーは自動的に OFF になります。◀

- » 右側ウインカーが点滅します。
- » 右側ウインカーインジケーターが点滅します。

### ウインカーを OFF にする



- ウインカーキャンセルスイッチ 3 を操作します。
- » ウインカーが OFF になります。
- » ウインカーインジケーターが OFF になります。

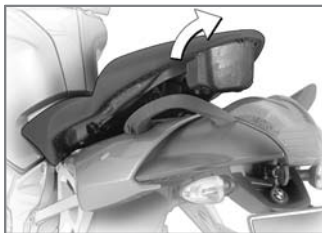
### シート

#### シートを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- シートロックのキーを反時計回りに回す。

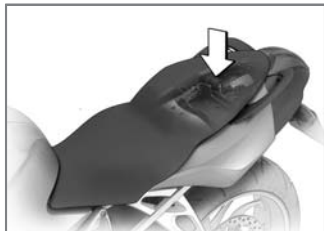


- リヤシートを持ち上げる。

**!** シートをざらつきなどのある面の上に置くと、シートエッジが損傷するおそれがあります。

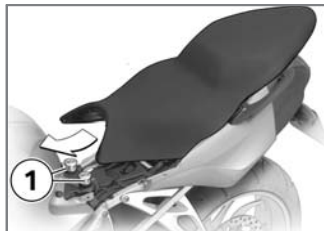
シートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます (タンクの上など)。◀

- キーを外し、シートを下方へ引いてホルダーから外す。



- その際、シートを押さえながら下方へ押す。

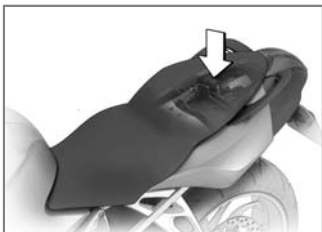
## シートを取り付ける



**!** 前に強く押しすぎると、モーターサイクルがスタンドから外れてしまうおそれがあります。

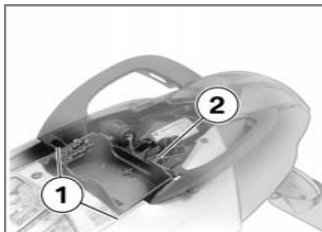
モーターサイクルが確実に立てられているか確認してください。◀

- シートを前方向へホルダー 1 に押し込む。



- シートをロックの上から、強く下に押し込む。
- » シートがはまる音が聞こえる。

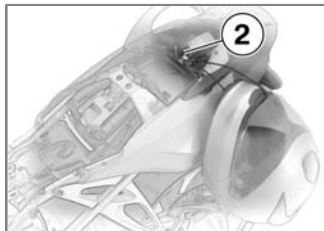
## ヘルメットホルダー ヘルメットホルダー（シート下）



シートの下にヘルメットホルダー 1、2 があります。ヘルメットホルダー 1 には、チンストラップを使用してヘルメットを留めることができます。ケースが取り付けられている場合や、チンストラップが短すぎる場合には、スチールケーブルを使用してヘルメットをヘルメットホルダー 2 に固定してください。

## ヘルメットホルダーを使用する

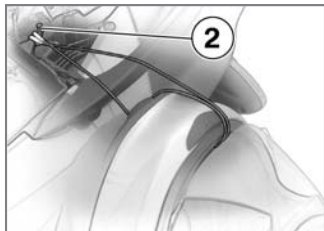
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- シートを取り外す (⇒ 50)



**!** ヘルメットロックにより、フェアリングに傷が付くおそれがあります。取付けの際には、ヘルメットロックの位置に注意してください。◀

- ヘルメットを、スチールケーブル（アクセサリー）を使用

して、ヘルメットホルダー 2  
に固定します。

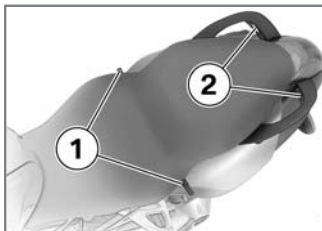


**!** 車両の右側では、マフラー  
の熱によりヘルメットが損  
傷するおそれがあります。  
ヘルメットは必ず車両の左側に  
固定してください。◀

- スチールケーブルをヘルメット  
に通して、ホルダー 2 に掛け  
ます。

▶ 適切なスチールケーブ  
ルは、BMW Motorrad  
ディーラーでお求めになれ  
ます。◀

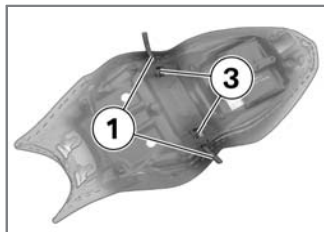
## ラゲッジループ シート下のラゲッジループ



シートの下側に、ラゲッジスト  
ラップ固定用のループ 1 があり  
ます。Grabハンドルの留め穴 2  
と組み合わせて使用すること  
により、荷物をリヤシートに固定  
できます。

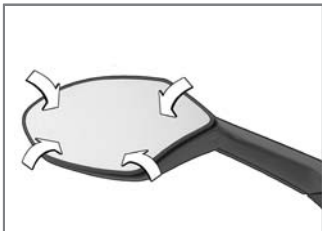
### ラゲッジループを使用する

- 平坦で、固くしっかりとした路  
面に、モーターサイクルを駐車  
します。
- シートを取り外す (⇒ 50)
- シートを裏返します。



- ループ 1 をホルダー 3 から引  
き出します。
- » ラゲッジストラップをループに  
掛けることができます。

## ミラー ミラーを調整する



- ミラーのそれぞれの角を軽く押して、望ましい位置に調整します。

## スプリングプリロード スプリングプリロードおよび重量

スプリングプリロードを、モーターサイクルの積載荷重に合わせて調整してください。積載荷重が重くなれば、スプリングプリロードを高く調整し、重量が軽くなれば、それに合わせてス

プリングプリロードも低く調整する必要があります。

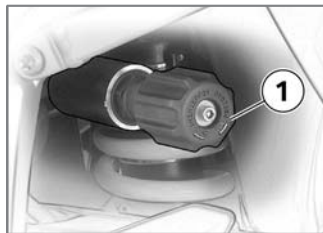
## リヤホイールのスプリングプリロードを調整する

**!** スプリングプリロードおよびショックアブソーバーが調整されていない場合、モーターサイクルの走行特性が悪化します。

ショックアブソーバーは、スプリングプリロードに合わせて調整してください。◀

**!** 走行中にスプリングプリロードを調整すると、事故につながるおそれがあります。スプリングプリロードの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀

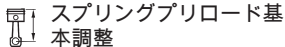
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- スプリングプリロードを高くするには、アジャストノブ 1 を矢印の「HIGH」方向へ回します。
- スプリングプリロードを低くするには、アジャストノブ 1 を矢印の「LOW」方向へ回します。

**▶** 1 回のクリック音は、アジャストノブ半回転に相当します。全体の調整範囲は 15 回転分です。◀





スプリングプリロード基本調整

– アジャストノブを矢印の「LOW」方向へストップ位置まで回してから、矢印の「HIGH」方向へ 15 クリック分回す (燃料満載、ライダー乗車時 85 kg)

## リヤホイールのショックアブソーバーを調整する

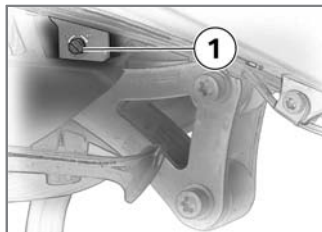
**!** スプリングプリロードおよびショックアブソーバーが調整されていない場合、モーターサイクルの走行特性が悪化します。ショックアブソーバーは、スプリングプリロードに合わせて調整してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。

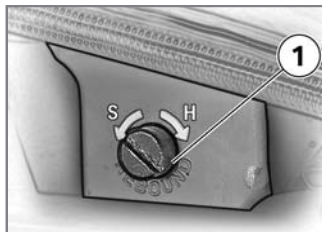
## ショックアブソーバー

### ショックアブソーバーおよびスプリングプリロード

ショックアブソーバーは必ずスプリングプリロードに合わせて調整してください。スプリングプリロードが高い場合は、ショックアブソーバーもハードに調整し、スプリングプリロードが低い場合は、ショックアブソーバーもソフトに調整する必要があります。



- ドライバーでアジャストスクリュー 1 を回し、リヤショックアブソーバーを調整します。



- ショックアブソーバーをハードにするには、アジャストスクリュー 1 を矢印「H」の方向へ回します。

- ショックアブソーバーをソフトにするには、アジャストスクリュー 1 を矢印「S」の方向へ回します。

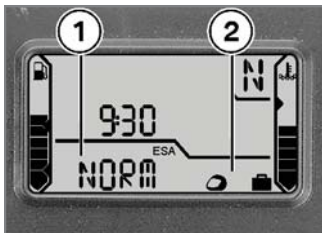
▶ 全体の調整範囲は、アジャストスクリュー 3 回転半です。◀



リヤショックアブソーバー基本位置

- アジャストノブを矢印の「H」方向へストップ位置まで回してから、矢印の「S」方向へ 1 回半回す (1 名乗車時 85 kg)

## 電子調整式サスペンション (ESA) OE 調整



電子調整式サスペンション (ESA) により、モーターサイクルをさまざまな走行条件に合わせて簡単に調整することができます。モーターサイクルを積載荷重と路面に合わせて最適に調整するため、3 種類のスプリングプリロードと 3 種類のショックアブソーバーを組み合わせることで調整することができます。ショックアブソーバーの設定はマルチファンクションディスプレイの 1 のエリアに表示され、

スプリングプリロードは 2 のエリアに表示されます。ESA の表示中は、オドメーター表示は消えます。

### 設定を表示する

- イグニッションを ON にします。



- ボタン 1 を押します。
- » 現在の設定が表示されます。
- » 表示は数秒後に自動的に消えます。

## ショックアブソーバーを調整する

- イグニッションを ON にします。

▶ ショックアブソーバーの調整は、走行中もできます。◀



- ボタン 1 を押します。
- » 現在の設定が表示されます。
- ボタン 1 を短く 1 回ずつ押します。

現在の設定から始まり、次の順番で表示が切り替わります。

- COMF コンフォート設定  
ショックアブソーバー

- NORM ノーマル設定ショックアブソーバー
- SPORT スポーツ設定ショックアブソーバー

» ボタン 1 を放してからしばらく操作しないでおくと、そのとき表示されていたショックアブソーバーが設定されます。調整作業中は表示が点滅します。

## スプリングプリロードを調整する

- エンジンを始動させます。

▶ 走行中は、スプリングプリロードを調整することはできません。◀



- ボタン 1 を押します。
- » 現在の設定が表示されます。
- 表示が変わるまで、ボタン 1 を押し続けます。

現在の設定から始まり、次の順番で表示が切り替わります。



1 名乗車時



1 名乗車 + 荷物積載時




2 名乗車 (+ 荷物積載) 時

- ボタン 1 を放してからしばらく操作しないでおくと、そのとき表示されていたスプリングプ


リロードが設定されます。調整作業中は表示が点滅します。

## タイヤ


### タイヤ空気圧を点検する

 タイヤ空気圧が適正でない場合、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼし、事故につながるおそれがあります。

タイヤ空気圧が正しいか確認してください。◀



 高速で走行していると、遠心力により、タイヤバルブが少しずつ緩むことがあります。

タイヤから空気が突然抜けることのないように、リヤホイールにはラバーガasketリングの付いた金属製バルブキャップを使用し、確実に締め付けてください。◀

 タイヤ空気圧が適正でないと、タイヤの寿命が短くなります。

タイヤ空気圧が正しいか確認してください。◀

- 次のデータを使用して、タイヤ空気圧が正しいか点検します。

	フロントタイヤ空気圧
- 2.5 bar (1 名乗車時 (タイヤ冷間時))	
- 2.5 bar (2 名乗車および / または荷物積載 (タイヤ冷間時))	
	リヤタイヤ空気圧
- 2.9 bar (1 名乗車時 (タイヤ冷間時))	
- 2.9 bar (2 名乗車および / または荷物積載 (タイヤ冷間時))	

タイヤ空気圧が不十分な場合：

- タイヤ空気圧を調整します。

## 走行

安全に関する注意事項 .....	60
チェックリスト .....	62
始動 .....	62
慣らし走行 .....	64
駐車する .....	65
給油 .....	66
タイヤ空気圧コントロール ( RDC ) <sup>OE</sup> .....	68
ブレーキシステム一般 .....	68
ブレーキシステム ( BMW Motorrad Integral ABS 装備 ) .....	69

## 安全に関する注意事項

### ライダーエクイップメント

正しい装備品を装着 / 着用しないでモーターサイクルに乗ることは、極めて危険です。次のアイテムを、必ず装着 / 着用してください。

- ヘルメット
- ライディングスーツ
- グローブ
- ブーツ


走行距離の長短や天候にかかわらず、これらのアイテムは必ず装着 / 着用しなければなりません。BMW Motorrad デイラーは喜んでご相談に応じ、それぞれの目的に合わせた、適切なアイテムをご用意しております。

### 車速

高速走行時には、さまざまな周辺状況が、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼす可能性があります。


- スプリングプリロードおよびショックアブソーバーを調整する
- 荷物のアンバランス
- 不適切な服装
- タイヤ空気圧の不足
- タイヤの摩耗
- その他

### 荷物の積み方

 積載量をオーバーしたり、荷物のバランスが悪いと、モーターサイクルの走行安定性に悪影響を及ぼすおそれがあります。

許容総重量を超えないようにし、積載に関する注意をお守りください。◀


### アルコールと薬物

 アルコールや薬物は、たとえ少量であっても知覚や反応を鈍らせ、判断力や反射能力を低下させます。特に医薬品を服用したときは、このような症状がひどくなることがあります。

アルコールや薬物、医薬品の服用後は、絶対にモーターサイクルを運転しないでください。◀


### 有毒物質

排気ガスは無色無臭ですが、たいへん有毒な一酸化炭素を含有しています。

 排気ガスを吸い込むと健康を害し、意識を失ったり、場合によっては死亡するおそれがあります。

排ガスを吸い込まないようにしてください。閉め切った場所で、エンジンを作動させないでください。◀

## 高電圧

 エンジン作動時に、イグニッションシステムの通電部品に触れると、感電するおそれがあります。

エンジン作動時は、イグニッションシステムの部品に決して触れないでください。◀


## 触媒コンバーター

ミスファイアーにより触媒コンバーターに未燃焼のガソリンが流入した場合、オーバーヒートや損傷が生じるおそれがあります。

そのため、次の項目を守ってください。

- フューエルタンクを空にしない
- スパークプラグのキャップを外したままエンジンを作動させない
- ミスファイアーが発生した場合は、ただちにエンジンを停止する
- 必ず無鉛ガソリンを使用する


- 指定されているメンテナンスを定期的実施する

 未燃焼のガソリンは、触媒コンバーターを破損します。


触媒コンバーターを保護するため、上記の項目を遵守してください。◀

## 火災の危険

エキゾーストシステムは高温になります。

 燃えやすいもの（紙くず、落ち葉、草、衣服、荷物など）が高温になったエキゾーストシステムに触れると、火災が起きるおそれがあります。


燃えやすいものが高温になったエキゾーストシステムに触れないように注意してください。◀

 エンジンを長時間アイドリングしたままにすると、冷却が十分に行われず、オーバーヒートが発生するおそれがあります。極端なケースでは、


車両火災が発生するおそれもあります。

エンジンを不必要にアイドリングしたままにしないでください。エンジンを始動したら、ただちに発進してください。◀

## エンジンマネジメントシステムコントロールユニットの改造

 エンジンマネジメントシステムコントロールユニットに手を加えると、車両が損傷し、事故につながるおそれがあります。

エンジンマネジメントシステムコントロールユニットに手を加えないでください。◀

 エンジンマネジメントシステムコントロールユニットに手を加えると、モーターサイクルのコンポーネントが対応できないレベルの機械的な負荷がかかるおそれがあります。それ

に起因する損傷に対しては、保証は適用されません。  
エンジンマネジメントシステムコントロールユニットに手を加えないでください。◀

## チェックリスト

以下のチェックリストを利用して、走行前には必ず、重要な機能、設定、摩耗限度について点検してください。

- ブレーキ機能
- フロント / リヤブレーキフルードレベル
- クラッチ機能
- クラッチフルードレベル
- ショックアブソーバーの調整 / スプリングプリロードの調整
- トレッドの溝の深さおよびタイヤ空気圧
- ケースおよび荷物の確実な固定

定期的に点検してください：

- エンジンオイルレベル（燃料補給ごと）
- ブレーキパッドの摩耗（燃料補給 3 回に 1 度）

## 始動

### サイドスタンド

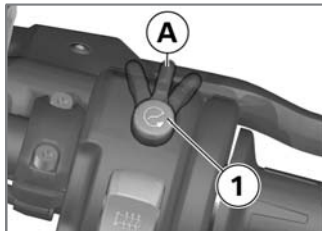
サイドスタンドを立てている状態でもギヤを入れることはできませんが、モーターサイクルを発進させることはできません。モーターサイクルをニュートラル位置で始動させ、サイドスタンドを立てた状態でギヤを入れると、エンジンは停止します。

### ギヤボックス

モーターサイクルは、ニュートラル位置またはクラッチを切ってギヤを入れた状態で、始動させることができます。必ずイグニッションを ON にした後、クラッチを操作してください。そうしない限り、エンジンを始動できません。ニュートラル位置

では、ニュートラルインジケータ（緑）が点灯し、マルチファンクションディスプレイのギヤインジケータは「N」を表示します。

## エンジンを始動させる



- イグニッションキルスイッチ 1 を通常の操作ポジション A にします。
- イグニッションを ON にします。
- » 走行前点検が行われます。(⇒ 63)
- » ABS 自己診断が実施されます。(⇒ 63)





- スターターボタン 1 を押し  
ます。

▶ 極端に温度が低い場合は、始動時にスロットルグリップの操作が必要な場合があります。外気温度が 0 °C 以下のときは、イグニッションを ON にしてから、クラッチを切ってください。◀

▶ バッテリー電圧が十分でない場合、始動動作は自動的に中断されます。始動操作を続ける前に、バッテリーを充電するか、ジャンプスタートを行ってください。◀

- » エンジンが始動します。
- » エンジンが始動しない場合は、次のトラブルシューティングをご覧ください。(➡ 122)

## 走行前点検

イグニッションを ON にした後、メーターパネルがジェネラル警告灯のテストを実行します。その際、警告灯はまず赤くなってから黄色に変わり、テストを行っていることを示します。この「走行前点検」と呼ばれるテストは、ディスプレイに CHECK! の表示が出ることによりわかります。テストの実施中にエンジンを始動させると、テストは中断されます。

### ステップ 1

 ジェネラル警告灯 ( 赤 ) が点灯します。


- 注意 CHECK! が表示されます。

### ステップ 2

 ジェネラル警告灯 ( 黄 ) が点灯します。

- 注意 CHECK! が表示されます。

ジェネラル警告灯が表示されない場合：

 ジェネラル警告灯が表示されない場合は、機能障害がいくつか表示されない可能性があります。

ジェネラル警告灯の表示 ( 赤および黄 ) に注意してください。◀

- できる限り早く BMW Motorrad デイラーに故障の修理を依頼してください。

## ABS 自己診断

BMW Motorrad Integral ABS の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。ABS センサーをテストするには、5 km/h

を超える速度で走行しなければなりません。

### ステップ 1

▶ 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。



ABS 警告灯が点滅します。



ABS 警告灯の国別仕様。

### ステップ 2

▶ 発進時に ABS センサーを点検します。



ABS 警告灯が点滅します。



ABS 警告灯の国別仕様。

### ABS 自己診断が終了

▶ ABS 警告灯が消灯します。

ABS 自己診断の終了後、ABS の故障が表示される場合：

- 走行を続行することは可能です。ABS もインテグラル機能も使用できないことに注意してください。
- できる限り早く BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

## 慣らし走行

### 最初の 1000 km

- 慣らし走行中は、スロットル開度とエンジン回転数を頻繁に変化させてください。
- 初めて走行するときは、幹線道路や高速道路よりも、カーブが多く、なだらかな坂のある道を選び、十分に慎重な走行をするようにしてください。



慣らし走行時に推奨回転数を超えると、エンジンが過度に摩耗します。

慣らし走行中は規定エンジン回転数を遵守してください。◀

- 慣らし走行中のエンジン回転数を越えないでください。



慣らし走行中のエンジン  
回転数

— <7000 min<sup>-1</sup>

- スロットルを全開にして加速しないでください。
- 全負荷状態では、エンジンを低回転で使用しないでください。
- 500 ~ 1,200 km の間に必ず初回点検を行ってください。

## ブレーキパッド

ブレーキパッドも適度な「慣らし」が必要です。最初の 500 km くらいまでは、まだ本来の性能を発揮できません。この段階のブレーキの効きの弱さは、ブレーキレバーを強く握ることで補うことができます。




ブレーキパッドが新しいと、制動距離は大幅に長くなるおそれがあります。

早めにブレーキングしてください。◀


## タイヤ

新しいタイヤの表面はきわめてなめらかな状態です。したがって、表面が適度に荒れるまで、慎重に慣らし走行を行う必要があります。タイヤの持つ最大のグリップ力を引き出すためには、この慣らし手順を必ず実行してください。

 新品のタイヤはグリップが充分でないため、極度に車体を傾けると事故につながるおそれがあります。車体を極度に傾けないでください。◀


## 駐車する

### サイドスタンドで立てる


 路面状態が悪いと、確実に停車させることができません。スタンドを立てる路面が、平坦

で固くしっかりとしているか確認してください。◀

- エンジンを停止します。
- ハンドブレーキを操作します。
- モーターサイクルをまっすぐに立て、バランスを保ちます。
- 左足でサイドスタンドを完全に下ろします。

 サイドスタンドは、モーターサイクルの重量のみを支えられるように設計されています。サイドスタンドを立てた状態で、モーターサイクルに着座しないでください。◀


- モーターサイクルが確実にスタンドで支えられるまでゆっくりと傾け、その後、モーターサイクルの左側へ降りてください。

 モーターサイクルをサイドスタンドで立てた場合、ハンドルバーを左右のどちらに回すのがよいかは、路面状態によって異なります。ただし平坦

な路面では、ハンドルバーを左に回したほうが、右に回した場合よりもモーターサイクルが安定します。

平坦な路面では、ステアリングをロックする際に、必ずハンドルバーを左に回してください。◀

- ハンドルバーを左または右いっぱいに回します。
- モーターサイクルがしっかりと支えられているか確認します。


 坂道など傾斜面に駐車する場合は、モーターサイクルを必ず「上り」方向に向け、ギヤを1速に入れてください。◀

- ステアリングロックをロックします。

### サイドスタンドを格納する


- ステアリングロックを解除します。
- 左側から、ハンドルバーを両手で握ります。
- ハンドブレーキを操作します。

- モーターサイクルをまっすぐに立て、右足でシートをまたぎます。
- モーターサイクルをまっすぐに立て、バランスを保ちます。

 サイドスタンドを出したまままでいると、モーターサイクルを発進させたときにスタンドが地面にひっかかり、転倒するおそれがあります。モーターサイクルを発進させる前に、サイドスタンドを格納してください。◀


- 着座し、サイドスタンドを左足で格納します。

## メイン（センター）スタンドで立てるOA

 路面状態が悪いと、確実に停車させることができません。スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀

- エンジンを停止します。

- 左手で左のハンドルグリップを握りながら、モーターサイクルから降ります。
- 右手でパッセンジャー用Grabハンドルまたはリヤフレームを握ります。
- 右足をメイン（センター）スタンドのレバーの上に置いて、スタンドの両足が路面に触れるまで、スタンドを踏み込みます。
- 全体重をメイン（センター）スタンドにかけ、同時にモーターサイクルを後方へ引きます。

 メイン（センター）スタンドは激しく動かされると跳ね上がることがあり、それが原因でモーターサイクルが転倒するおそれがあります。メイン（センター）スタンドを立てた状態で、モーターサイクルに着座しないでください。◀


- モーターサイクルがしっかりと支えられているか確認します。

- ステアリングロックをロックします。


## メイン（センター）スタンドを格納するOA

- ステアリングロックを解除します。
- 左手で、左のハンドルグリップを握ります。
- 右手でパッセンジャー用Grabハンドルまたはリヤフレームを握ります。
- モーターサイクルを、メイン（センター）スタンドから前方へ押し出します。
- メイン（センター）スタンドが完全に格納されているか確認します。


## 給油

 フューエルは簡単に引火します。フューエルタンクに火を近づけると、火災や爆発が起こる可能性があります。フューエルタンクの近辺でタバ


コを吸ったり、火気を近づけることは絶対に避けてください。◀

 フューエルは、高温になると膨張します。タンクに給油しすぎると、フューエルが溢れ出して、リヤホイールに付着することがあります。それによって、転倒するおそれがあります。

このため、給油はフィルターネックの下端までに行ってください。◀

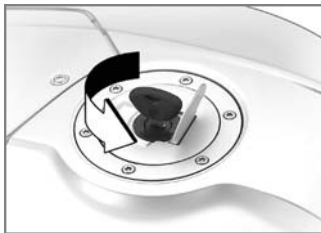
 フューエルはプラスチックの表面を傷めるため、表面の光沢がなくなったり、外観が損なわれたりします。

プラスチック部品にフューエルが付着した場合は、ただちに拭き取ってください。◀


 有鉛ガソリンを使用すると、触媒コンバーターが破損します。

必ず無鉛ガソリンを使用してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- 保護キャップを開きます。
- フューエルタンクキャップを、イグニッションキーで反時計回りに回して開きます。
- 以下に記載されているグレードのフューエルをフィルターネックの下端いっぱいまで補給します。


 推奨されている燃料の種類

- 98 ROZ/RON (無鉛プレミアム)

- 95 ROZ/RON (無鉛スーパー (出力および燃費に関する条件付きで使用可能な燃料の種類))

 使用可能なフューエル容量

- 19 l

 フューエルリザーブ容量

- 4 l

- フューエルタンクキャップを強く押して閉めます。
- キーを抜き取り、保護キャップを閉めます。

## タイヤ空気圧コントロール (RDC) OE

### 機能

タイヤにはセンサーが各ひとつずつ装備されており、このセンサーがタイヤ内部のエア温度と空気圧を測定し、このデータをコントロールユニットに伝送します。

センサーには遠心ガバナーが装備されており、これにより車速が約 30 km/h を超えると測定値の伝送が行われ始めます。タイヤ空気圧が最初に受信される前は、ディスプレイには各タイヤ用に -- が表示されます。車両停止後、センサーはさらに約 15 分間、測定値を伝送します。

コントロールユニットは 4 つのセンサーを管理できます。RDC センサー付きの 2 つのホイールセットの走行が可能です。

RDC コントロールユニットが装備されていて、ホイールにセンサーが取り付けられていない

場合は、エラーメッセージが出ます。

### 温度補正


タイヤ空気圧は温度補正が行われてマルチファンクションディスプレイに表示され、タイヤ空気温度は 20 °C が想定されています。ガソリンスタンドの空気圧テスターは温度に依存したタイヤ空気圧を表示するため、ほとんどの場合、マルチファンクションディスプレイに表示された数値と異なります。

### 空気圧領域


RDC コントロールユニットは、車両に適合した 3 つの空気圧領域を識別します：

- 許容範囲内の空気圧。
- 許容限界域にある空気圧。
- 許容範囲外の空気圧。


## ブレーキシステム一般 下り坂

 下り坂で、リヤブレーキばかりを使用していると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。極端な条件下では、ブレーキが熱くなりすぎて破損することがあります。フロントおよびリヤブレーキを作動させて、エンジンブレーキを使用してください。◀


### ブレーキが濡れたとき

 モーターサイクルを水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行したりすると、ブレーキディスクとブレーキパッドが水に濡れた状態になり、ブレーキの効きが遅くなるおそれがあります。ブレーキが乾くまでは、早めにブレーキングしてください。◀


## ブレーキに塩分が付着したとき

 モーターサイクルが塩を散布した路面を走行した後、しばらくブレーキをかけないと、ブレーキの効きが遅くなる場合があります。ブレーキディスクおよびブレーキパッドに付着している塩の層が、ブレーキ操作を行ううちになくなるまでは、早めにブレーキングしてください。◀

## ブレーキに油やグリースが付着したとき

 ブレーキディスクとパッドにオイルやグリースが付着していると、ブレーキの効きが著しく低下します。特に修理や保守作業の後は、ブレーキディスクおよびブレーキパッドにオイルやグリースの付着のないことを確認してください。◀

## ブレーキに汚れや泥が付着したとき

 オフロード走行やぬかるんだ道路を走行すると、ブレーキディスクやブレーキパッドに汚れが付着し、ブレーキの効きが遅くなる場合があります。ブレーキ操作を行ううちに、付着している汚れがとれるまでは、早めにブレーキングしてください。◀


## ブレーキシステム ( BMW Motorrad Integral ABS 装備 )

### パーシャリーインテグラルブレーキ

このモーターサイクルには、パーシャリーインテグラルブレーキが装着されています。このブレーキシステムでは、ブレーキレバーを操作するとフロント / リヤホイールのブ

レーキと一緒に作動します。ブレーキペダルを操作した場合、リヤブレーキのみの作動となります。

BMW Motorrad Integral ABS は、制御中のフロントおよびリヤホイールブレーキへのブレーキフォース配分を、モーターサイクルの荷重状態に合わせて行います。

 フロントブレーキをかけた際に引き起こされる後輪の空転 ( パーンアウト ) は、Integral 機能により、かなり抑えられます。リヤブレーキおよびクラッチが損傷するおそれがあります。パーンアウトは行わないでください。◀

## ABS はどのように作動するのか？

路面に伝達される最大ブレーキフォースは、様々な要因の中でも、路面の摩擦係数に依存しています。砂利、凍結、雪、水に覆われた路面の摩擦係数は、乾いた、クリーンなアスファルトの路面に比べてはるかに低いものになります。路面の摩擦係数が低くなるほど、制動距離は長くなります。

ライダーがブレーキ圧を上げたときに、路面にかかる最大ブレーキフォースが限界を超えると、ホイールがロックし、方向安定性が失われます。そのため、転倒するおそれがあります。このような状況になる前に、ABS が介入して、ブレーキ圧を伝達される最大ブレーキフォースに適応させます。それによりホイールが回転し続け、路面状態に関係なく走行安定性が維持されます。

## 凸凹のある路面で起こることとは？

起伏や凸凹のある路面によって、タイヤと路面のコンタクトが一時的に失われ、その結果、伝達されるブレーキフォースがゼロに落ち込むということが起こりえます。このような状況でブレーキングが行われる場合、路面とのコンタクトが復活したときに走行安定性を確保するため、ABS はブレーキ圧を下げる必要があります。このとき BMW Motorrad Integral ABS は、想定しうるいかなる状況においてもホイールが回転し、それによりモーターサイクルの安定性が確実になるよう、摩擦係数（砂利、凍結、雪の場合）をかなり低く見積っています。実際の状況が明らかになった後、システムはブレーキ圧を最適な値にセットしなおします。

## BMW Motorrad Integral ABS の作動は、ライダーにとってどのように感じられるでしょうか？

上記の状況のために ABS システムがブレーキフォースを制限する必要がある場合、ブレーキレバーに振動が感じられます。ブレーキレバーを操作すると、インテグラル機能によりリヤホイールでもブレーキ圧が形成されます。その後ブレーキペダルを操作すると、ブレーキペダルをブレーキレバー操作の前または同時に操作したかのように、すでに形成されているブレーキ圧が背圧として感じられます。

## 制動距離を最短にするには？

フロント / リヤホイール間の力学的な負荷配分は、ブレーキングによって変わります。ブレーキングが強くなるほど、フロントホイールにはより大きな負荷がかかります。そしてホイールにかかる負荷が大きくなるほ



ど、より大きなブレーキフォースが伝達されます。

制動距離を最短にするには、徐々に強くなるようフロントブレーキをかけることが必要です。それにより、フロントホイールにかかる負荷の力学的な増加が、最も効果的に利用されます。同時に、クラッチは切っておく必要があります。頻繁にトレーニングされている緊急ブレーキでは、ブレーキ圧ができるかぎり早急に最大の力で生成されます。力学的な負荷配分が減速に追いつけなくなり、ブレーキフォースが完全には路面に伝達できなくなります。このとき、フロントホイールがロックしないように ABS が介入し、ブレーキ圧を下げる必要があります。そのため制動距離が長くなります。

## リヤホイールの浮き上がり

タイヤの路面に対するグリップ力が高い場合に強いブレーキをかけると、フロントホイールはかなり経ってからロックするか、またはロックしません。それに応じて、ABS 制御も大幅に遅れるか、または作動しません。この場合、リヤホイールが浮き上がることがあり、モーターサイクルの転倒につながるおそれがあります。



急激なブレーキングを行うと、リヤホイールが浮き上がるおそれがあります。ブレーキング時には、ABS 制御は、いかなる状況においてもリヤホイールが浮き上がるのを防ぐものではないことに注意してください。◀

## BMW Motorrad Integral ABS はどのように作動しますか？

BMW Motorrad Integral ABS は、物理的限界内で、あらゆる地面での走行安定性を保証しています。このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。

### 特殊な状況

ホイールのロックを検知するために、特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較されます。一定の時間以上、検知される値が正常でない場合、安全のために ABS 機能が停止し、ABS の故障が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

BMW Motorrad Integral ABS に問題がある場合以外に、特殊な走行状態が原因でエラーメッ


セージが表示される場合があります。

#### 特殊な走行状態：

- アイドリング中あるいはギヤシフト時、センタースタンドあるいは補助スタンドで立てた状態でのウォームアップ。
- エンジンブレーキによる長時間のリヤホイールのロック（オフロード走行時など）。

上記のいずれかの走行状態によりエラーメッセージが表示された場合には、ABS 機能はイグニッションの ON / OFF により再び作動できます。

#### 定期的なメンテナンスの役割りとは？

 技術システムはすべて、常に良好な整備状態にしておいてください。

BMW Motorrad Integral ABS を確実に最適な整備状態にしておくために、規定の定期点検時期を必ず遵守してください。◀

#### 安全を確保するための予防措置

BMW Motorrad Integral ABS により制動距離が短くなるからといって、無謀なライディングは避けなければなりません。ABS は、基本的には緊急事態における安全性を確保するための予防措置です。

コーナリング時のブレーキングには特に注意してください。コーナリング時にブレーキをかけると、モーターサイクルの重量と慣性が勝り、BMW Motorrad Integral ABS といえどもその影響を補正することはできません。

## アクセサリ

一般的な情報 .....	74
電源ソケット .....	74
荷物 .....	75
ケース <sup>OA</sup> .....	75
修理キット <sup>OA</sup> .....	79


## 一般的な情報

部品やアクセサリは、あなたのモーターサイクル用に BMW Motorrad が承認した純正品をご使用になることをお勧めします。

BMW 純正部品およびアクセサリのご購入、それらに関連する専門的なアドバイスにつきましては、BMW Motorrad デイラーにお尋ねください。

これらの部品やアクセサリは、安全性、機能性、適性について BMW によって試験されたものです。それらの製品については、BMW が製造責任を保証いたします。

BMW 純正品以外の部品やアクセサリについては、BMW は責任を負いかねます。

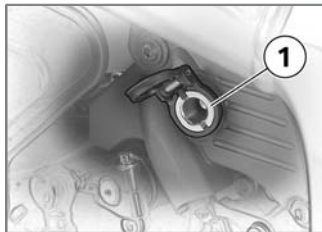
 BMW Motorrad 純正品以外の製品をモーターサイクルに装着した場合、BMW Motorrad ではそれらの製品を調査、試験して安全性に影響を与えない

と保証することはできません。たとえ公的機関または政府公認による許可があったとしても、必ずしもこの安全要件に対する保証にはなりません。公的試験の方法が必ずしも BMW Motorrad の安全要件を満たすとは限らないからです。必ず、BMW Motorrad 純正の部品およびアクセサリを使用してください。◀

改造を行う場合は、すべての法規制に従ってください。道路交通法を遵守してください。

## 電源ソケット

### 負荷定格



バッテリー電圧が低すぎる場合や、標準電源ソケット 1 および補助電源ソケット (OA) の最大定格負荷を超えた場合、回路は自動的に遮断されます。

### アクセサリの使用


アクセサリは、イグニッションが ON の場合にのみ作動できます。その後でイグニッションを OFF にしても、アクセサリは作動したままになります。イグニッションを OFF にしてから約 15 分後、また、始動動

作中は、バッテリー回路の負荷を軽くするために、電源ソケットの回路は遮断されます。

## ケーブルの取り回し


電源ソケットとアクセサリ間のケーブルは、以下のことに注意して、取り回して下さい。

- ライダーの妨げにならないこと
- ハンドルバーの動きやハンドリング性能を、制限したり妨げたりしないこと
- 挟み込まれるおそれのないこと

 ケーブルが正しく取り回されていない場合、ライダーの妨げになることがあります。ケーブルを上記のように取り回して下さい。◀

## 荷物

### 荷物の積み方

 積載量をオーバーしたり、荷物のバランスが悪いと、モーターサイクルの走行安定性に悪影響を及ぼすおそれがあります。

許容総重量を超えないようにし、積載に関する注意をお守りください。◀

荷物を積載したケースを取り付けて走行する場合、最高速度は180 km/h にすることをお勧めします。

- スプリングプリロードの設定、ショックアブソーバーの設定、タイヤ空気圧を総重量に合わせて調整します。
- ケースの容量が左右均等になっているか確認します。
- 重量が左右均等になっているか確認します。
- 重いものはバッグの下部の内側に入れます。

- 左右のケースの最大積載重量は、それぞれ 8 kg です。
- タンクバッグの最大積載重量は、5 kg です。

## ケースOA

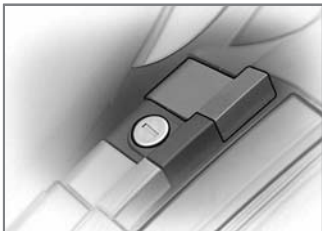
### ロック解除レバー

ケースロックの左右には、それぞれロック解除レバーがあります。

「OPEN」と記されているレバー（グレー）は、ケースの開閉に使用します。

「RELEASE」と記されているレバー（黒）は、ケースの脱着に使用します。

## ケースを開く



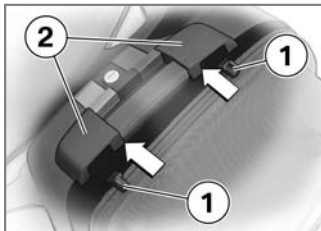
- ロックシリンダーを「OPEN」方向へ回します。



- ロック解除レバー (グレー) (OPEN) を引き上げます。

- » ロックストラップ 1 が外れます。
- ロック解除レバー (グレー) (OPEN) を再度引き上げます。
- ケースリッド 2 をリテーナーから引いて外します。

## ケースを閉じる

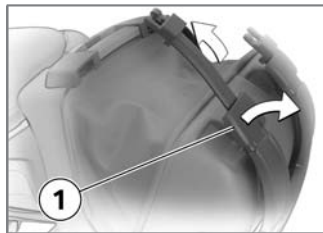


- ケースリッドのキャッチ 1 をリテーナー 2 に押し込みます。
- » キャッチのはまる音がします。
- ロックストラップのキャッチをリテーナー 2 に押し込みます。

- » キャッチのはまる音がします。
- キャッチが確実にハマっているか点検します。

## ケースの容量を調整する

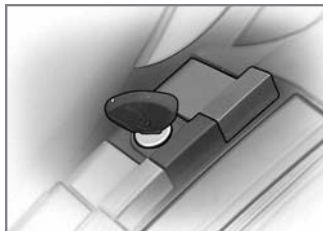
- ケースリッドを閉じます。



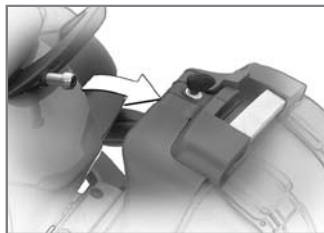
- ロックストラップバックル 1 を、外側へ回します。
- ロックストラップを上方へ引きます。
- » 最大容量に設定されています。



## ケースを取り外す



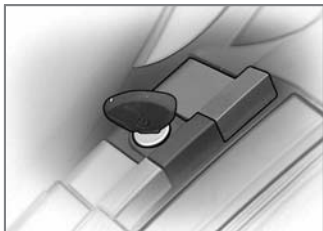
- ロックシリンダーを「RELEASE」方向へ回します。
- ロック解除レバー（黒）（RELEASE）を引き上げます。



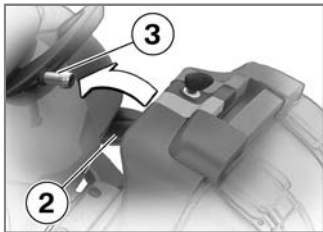
- ケースを上側のマウントから引いて外します。
- ケースを下側のマウントから持ち上げて外します。

- ロックストラップを締めます。
  - ロックストラップをケースボディに押し付けます。
- » ケース容量は中身に合わせて調整されます。

## ケースを取り付ける



- ロックシリンダーを「RELEASE」方向へ回します。



- ケースを下側のマウント 2 に掛けます。

- ロック解除レバー (黒) (RELEASE) を引き上げます。
- ケースを上側のマウント 3 に押し込みます。
- ロック解除レバー (RELEASE) (黒) を押し下げます。  
 » ケースは固定されています。
- ケースをロックします。
- 確実にロックされているか点検します。

## 確実な固定



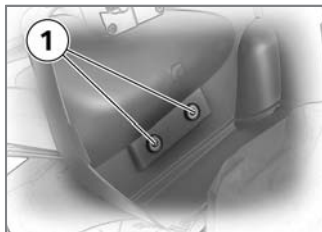
ケースがぐらついたり、取り付けにくい場合には、上下のマウント間の間隔を調整する必要があります。そのため、ケース下側のホルダーは、高さを変更することができます。

## ケースを調整する

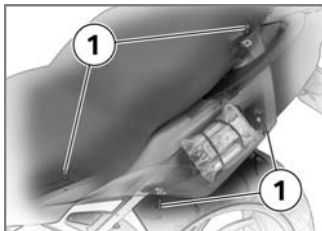
- ケースを開きます。



- シートを取り外す (➡ 50)



- ボルト 1 を外します。
- ホルダーの高さを調整します。
- ボルト 1 を締め付けます。



- ボルト 1 を取り外します。
- サイドフェアリングを取り外します。

▶ サイドフェアリングを傷つけないようにするため、フェアリングをシートの上に置いてください。◀

- リテーニングストラップを外し、修理キットを取り出します。

## 修理キットOA

### 使用

修理キットは左のサイドフェアリングの下にあります。修理手順および安全上の注意については、修理キットの説明書を参照してください。

### 修理キットを取り出す

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



## メンテナンス

一般的な情報 .....	82
ツールキット .....	82
エンジンオイル .....	83
ブレーキシステム一般 .....	85
ブレーキパッド .....	85
ブレーキフルード .....	87
クラッチ .....	89
タイヤ .....	90
ホイールリム .....	91
ホイール .....	91
フロントホイールスタンド .....	98
リヤホイールスタンド .....	100
バルブ .....	101
ジャンプスタート .....	111
バッテリー .....	112

## 一般的な情報

「メンテナンス」の章では、簡単に実施できる消耗部品の交換作業について説明します。

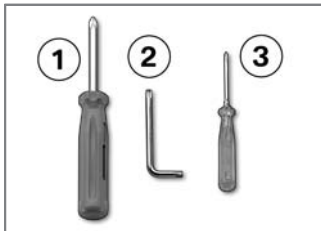
取り付け時に専用の締付けトルクがある場合は、その規定トルクも記載されています。

さらに詳細な作業について関心をお持ちであれば、あなたのモーターサイクルに適したリペアマニュアル (CD-ROM) をお勧めいたします。BMW Motorrad デイラーで用意いたしております。

記述された作業を実施するには、スペシャルツールと確かなモーターサイクルの知識が必要な場合があります。疑問が生じた場合は、BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。

## ツールキット

### ツールキット (標準装備)



#### 1 ドライバー (リバーシブルブレード)

- ウィンカーレンズを脱着する
- バッテリーターミナルを外す

#### 2 トルクスレンチ T25

- トリム部品を脱着する
- バッテリーホルダークランプを脱着する

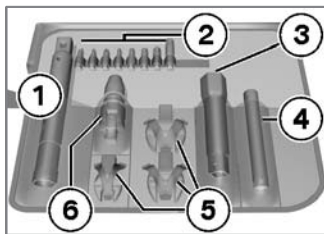
#### 3 ドライバー (小)

- ウィンカーレンズを脱着する

## ツールキットサービスセット

今後の作業用に BMW Motorrad デイラーからツールキットサービスセットが提供されます。

この作業実施に関する情報は、BMW Motorrad デイラーで入手可能なリペアマニュアル (CD-ROM 版) を参照してください。




#### 1 スライド式ツールホルダー


- アダプターを介する全ツールのホルダー

## エンジンオイル


### エンジンオイルレベルを点検する

 エンジンオイルが不足していると、エンジンが停止し、事故につながるおそれがあります。

エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。◀

 モーターサイクルを長時間停止させた後は、エンジンオイルがオイルパンに溜まっている可能性があります。オイルレベルを読み取る前に、ポンプでオイルタンクに戻しておく必要があります。そのため、エンジンオイルは通常の作動温度でなければなりません。エンジン冷間時や短時間走行した後にオイルレベルの点検を行うと、正確なレベルを測定できないため、間違ったオイル量でエンジンを作動する原因となります。エンジンオイルレベルを正確に

表示させるため、長時間走行した後には必ず、オイルレベルを点検してください。◀

 オイルレベルはオイル温度により変化します。オイル温度が高くなるにつれて、オイルレベルも上昇します。エンジンオイルレベルの点検は、長時間走行した後すぐに実施してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、作動温度に達しているモーターサイクルをまっすぐに立てます。

メイン（センター）スタンドOAあり

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、作動温度に達しているモーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。◀

- 1分間アイドルリングします。
- イグニッションをOFFにします。

### 2 1/4" ビット

- トルクス × 5
- プラス × 2
- マイナス × 1

### 3 3/8" 専用レンチヘッド（口径 22）

- フロントホイールを脱着する

### 4 懐中電灯

- LED 技術

### 5 レンチ

- オープンエンドレンチ × 3、口径がそれぞれ異なる

### 6 ビットアダプター

- サポート 1/4" ビット
- 9x 12 mm および 3/8" ジョイントアダプター



- オイルレベルを表示 1 で読み取ります。



 エンジンオイル規定  
レベル

— 最低レベル ( MIN ) と最高レベル ( MAX ) マーク間

オイルレベルが MIN マークを下回っている場合：


- エンジンオイルを補充します。

オイルレベルが MAX マークを上回っている場合：

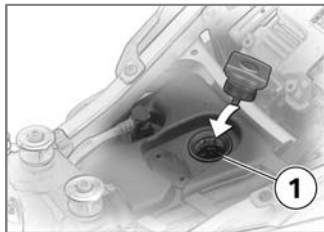
- エンジンオイルを排出します。

## エンジンオイルを補充する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- シートを取り外す (⇒ 50)

 エンジンオイルは多すぎても少なすぎても、エンジンを損傷するおそれがあります。エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。◀

- フィラーネック周辺を清掃します。

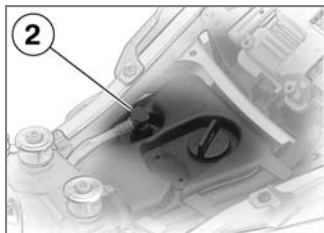


- オイルフィルタープラグ 1 を反時計回りに回して取り外します。

- エンジンオイルを規定レベルまで補充します。
- オイルフィルタープラグ 1 を時計回りに回して取り付けます。
- シートを取り付ける (⇒ 51)

## エンジンオイルを排出する

- シートを取り外す (⇒ 50)



- 透明ホースのロック 2 の左右をつまんで、オイルタンクから引き上げます。
- 透明ホースをフレームから引き下げ、エンジンオイルを規定レベルになるまで適切な容器に排出します。

- 透明ホースをオイルタンクに差し込み、固定します。
- 余分なエンジンオイルは、環境に配慮した方法で保管または廃棄します。
- シートを取り付ける (⇒ 51)

## ブレーキシステム一般

### 動作信頼性

ブレーキシステムが正常に機能することは、モーターサイクルの走行安全性のための基本前提です。

ブレーキシステムに異常を感じた場合は、走行しないでください。

そのような場合は、BMW Motorrad ディーラーにブレーキシステムの点検を依頼してください。

**!** 作業が正しく行われない場合、ブレーキシステムの動作の確実性が損なわれます。ブレーキシステムに関するすべての作業は、BMW Motorrad

ディーラーに依頼してください。◀

## ブレーキの作動を点検する

- ブレーキレバーを操作します。
  - » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- ブレーキペダルを操作します。
  - » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

## ブレーキパッド

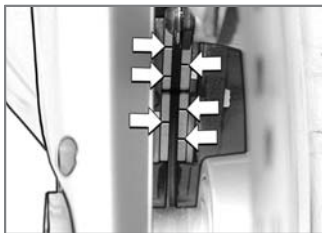
### フロントブレーキパッド厚を点検する


**!** ブレーキパッドの厚さが使用限度厚を下回っていると、ブレーキ性能が低下し、場合によってはブレーキが損傷するおそれがあります。ブレーキシステムの作動を確実なものとするために、ブレーキパッドの厚さが使用限度厚を下回らないようにしてください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- 左右ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：ホイールおよびフロントサスペンション間からブレーキキャリパーへ




 フロントブレーキパッドの使用限度厚

－ブレーキパッドの摩耗インジケーターがはっきり見えていること。

摩耗インジケーターが、はっきりと見えない場合：

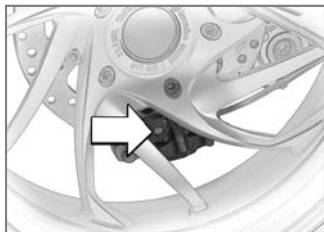
- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

## リヤブレーキパッド厚を点検する

 ブレーキパッドの厚さが使用限度厚を下回っていると、ブレーキ性能が低下し、場合によってはブレーキが損傷するおそれがあります。ブレーキシステムの作動を確実なものとするために、ブレーキパッドの厚さが使用限度厚を下回らないようにしてください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。





- ブレーキパッド厚を右側から目視点検します。



リヤブレーキパッド厚

－ 摩耗限度



リヤブレーキパッド厚

－ 1 mm (ライニングのみ  
( キャリアプレートなし ))

－ インナーブレーキパッドの  
孔からブレーキディスクが  
見えないこと。

ブレーキディスクが見える  
場合：

- BMW Motorrad デイラーに  
ブレーキパッドの交換を依頼し  
てください。

## ブレーキフルード

### フロントブレーキフルードレ ベルを点検する

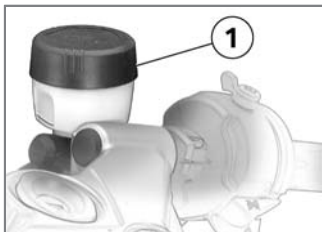


ブレーキフルードリザー  
バータンクのフルードが不  
足している場合、ブレーキシ  
ステム内にエアが入り込むおそれ  
があります。これは、ブレーキ

性能が著しく低下する原因とな  
ります。

ブレーキフルードレベルを定期  
的に点検します。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路  
面に、モーターサイクルをまっ  
すぐに立てます。
- ハンドルを直進位置にします。  
メイン (センター) スタンド<sup>OA</sup>  
あり
- 平坦で、固くしっかりとした  
路面に、モーターサイクルをメ  
イン (センター) スタンドで立  
てます。
- ハンドルを直進位置にし  
ます。◀



- ブレーキフルードリザーバータンク 1 のブレーキフルードレベルを読み取ります。

▶ ブレーキパッドの摩耗と共に、リザーバータンクのブレーキフルードレベルが下がってきます。◀



フロントブレーキフルードレベル

- ブレーキフルード DOT4

- ブレーキフルードレベルが MIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバータンクを水平状態にする)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

## リヤブレーキフルードレベルを点検する

**!** ブレーキフルードリザーバータンクのフルードが不足している場合、ブレーキシステム内にエアが入り込むおそれがあります。これは、ブレーキ性能が著しく低下する原因となります。

ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。

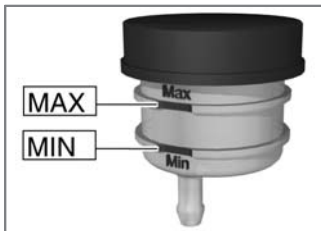
メイン(センター)スタンド<sup>OA</sup>あり

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。◀



- ブレーキフルードリザーバータンク 1 のブレーキフルードレベルを読み取ります。

▶ ブレーキパッドの摩耗と共に、リザーバータンクのブレーキフルードレベルが下がってきます。◀



リヤブレーキフルード  
レベル

– ブレーキフルード DOT4

– ブレーキフルードレベルが MIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバータンクを水平状態にする)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad デイラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

## クラッチ

### クラッチの機能を点検する

- クラッチレバーを操作します。
- » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

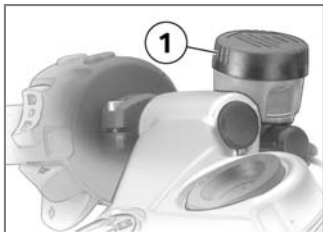
抵抗がはっきりと感じられない場合：

- BMW Motorrad デイラーにクラッチシステムの点検を依頼してください。

### クラッチフルードレベルを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。
- ハンドルを直進位置にします。メイン (センター) スタンド OA あり
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。

- ハンドルを直進位置にします。◀



- クラッチフルードリザーバータンク 1 のクラッチフルードレベルを読み取ります。

▶ クラッチの摩耗により、クラッチフルードリザーバータンク内のフルードレベルが上昇しています。◀



クラッチフルードレベル

– クラッチフルードレベルが下がらないこと。

ブレーキフルードレベルが下がる場合：

**!** 適切でないフルードを使用すると、クラッチシステムの損傷を招くことがあります。フルードの注入は行わないでください。◀

- BMW Motorrad デイラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

▶ クラッチシステムには、交換する必要のない特別なフルードが使用されています。◀

## タイヤ

タイヤのトレッド溝の深さを点検する

**!** トレッドが法定の最小残溝量に達してなくても、モーターサイクルの走行特性はすでに落ちている可能性があります。

タイヤは、トレッドが最小残溝量に達する前に交換してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して測定します。

▶ 前後のタイヤには摩耗インジケーターがあり、メインのトレッド溝に組み込まれています。タイヤのトレッド溝がインジケーターレベルにまで達している場合は、タイヤが完全に摩耗しています。インジケーターの位置は、タイヤの縁にTI、TWIなどのアルファベットや矢印で示されています。◀

トレッドが最小残溝量に達している場合：

- 当該タイヤを交換します。

## ホイールリム

### ホイールリムを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- ホイールリムに不良な部分がないか目視点検します。
- ホイールリムが損傷した場合は、BMW Motorrad デイラーに点検を依頼し、必要に応じて交換してください。

## ホイール

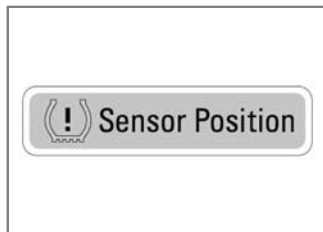
### ホイールと承認タイヤ

すべてのタイヤサイズに関して、特定のタイヤ製品が BMW Motorrad により検査され、走行安全性に優れているとして推奨されています。推奨以外のホイールおよびタイヤを使用した場合、BMW Motorrad はその適合性を確認していないため、走行安全性を保証することはできません。

必ず、モデルに応じて BMW Motorrad が推奨するホイールおよびタイヤを使用してください。

詳細については BMW Motorrad デイラーにお問い合わせいただくか、または [www.bmw-motorrad.com](http://www.bmw-motorrad.com) をご覧ください。

## RDC ラベル<sup>OE</sup>



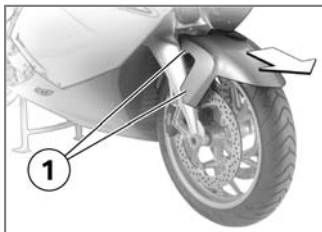
⚠ タイヤの取外しが不適切な場合、RDC センサーが損傷するおそれがあります。ホイールに RDC センサーが装着されていることを BMW Motorrad デイラーに伝えてください。◀

RDC 装備のモーターサイクルには、ホイールリム上の RDC センサー位置に当該ラベルがあります。タイヤ交換の際には、RDC センサーを損傷しないように注意してください。BMW Motorrad デイラーまたはワークショッ

プに、RDC センサーが取り付けられていることを知らせます。

## フロントホイールを取り外す

- モーターサイクルを補助スタンドで立てます。BMW Motorrad は、BMW Motorrad リヤホイールスタンドの使用をお勧めします。
  - リヤホイールスタンドを取り付ける (➡ 100)
- メイン (センター) スタンド<sup>OA</sup>あり
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。◁



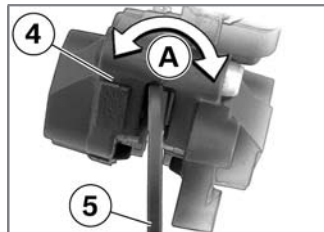
- 左右のボルト 1 を取り外す。
- フロントフェンダーを前方向へ取り外す。



**!** フロントホイールを取り外した状態では、ブレーキパッドが押し圧され、フロントホイールを再度取り付ける際

に、ブレーキディスクをブレーキパッド間に収めることが困難になる場合があります。ブレーキキャリパを取り外した状態では、ブレーキレバーを操作しないでください。◁

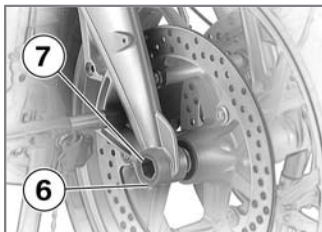
- 左右ブレーキキャリパの固定ボルト 3 を取り外します。



- ブレーキキャリパ 4 を A の方向に回し、ブレーキパッドをブレーキディスク 5 から少し離れるように押します。
- リム周辺をマスキングテープなどで保護し、ブレーキキャリパ

を取り外す際に傷が付かないようにします。

- ブレーキキャリパを後方外側へ慎重に引いて、ブレーキディスクから取り外します。
- 左側ブレーキキャリパを取り外す場合は、ABS センサーケーブルが損傷しないように注意してください。
- モーターサイクル前部を持ち上げ、フロントホイールが妨げられることなく回転するようにします。モーターサイクルを持ち上げる場合、BMW Motorrad は BMW Motorrad フロントホイールスタンドの使用をお勧めします。
- フロントホイールスタンドを取り付ける (▶ 99)



**!** 左側アクスルクランプボルトはフロントサスペンション内のブッシュを固定します。ブッシュの調整が正しくない場合、ABS センサーリングと ABS センサー間の間隔も正常でなくなるため、ABS 機能障害や ABS センサーの破損が生じます。

確実にブッシュを正しく調整するために、左側アクスルクランプボルトを緩めたり、取り外したりしないでください。◀

- 右側アクスルクランプボルト 6 を外します。

- ホイールを保持しながら、アクスルシャフト 7 を取り外します。
- フロントホイールガイドに収まっているフロントホイールを、地面の上に立てます。

**!** フロントホイールを転がし出す場合、ABS センサーが損傷するおそれがあります。フロントホイールを転がし出す際は、ABS センサーに注意してください。◀

- フロントホイールを前へ転がして取り外します。

## フロントホイールを取り付ける

**!** ABS 機能障害は、不適切な回転信号が原因です。区別してセグメント分けされているセンサーホイールを、取り違えないように注意してください。必ず該当する型式用の適切なセンサーホイールを取り付けます。◀

**!** ボルト締付け部の締付けトルクが不適切な場合、締付けが緩んだり、ボルト締付け部が損傷するおそれがあります。締付けトルクの点検は、必ず BMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀

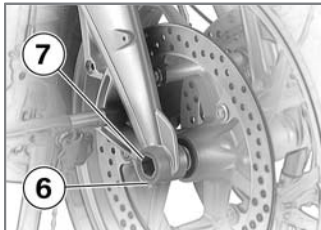
**!** フロントホイールは必ず回転方向に取り付けてください。タイヤまたはホイールリムに付いている回転方向を示す矢印に注意してください。◀

**!** 以下の作業では、フロントブレーキの部品、特に BMW Motorrad Integral ABS の部品が損傷するおそれがあります。ブレーキシステムの部品、特にケーブル付き ABS センサーや ABS センサーリングが損傷しないように注意してください。◀


**!** フロントホイールを転がし入れる場合、ABS センサーが損傷するおそれがあります。

フロントホイールを転がし入れる際は、ABS センサーに注意してください。◀

• フロントホイールをフロントホイールガイドへ転がし入れます。




• フロントホイールを持ち上げ、アクスルシャフト 7 を締付けトルクで締め付けて取り付けます。

 ブッシュ内アクスルシャフト

- 50 Nm

• 右側アクスルクランプボルト 6 を締付けトルクで締め付けます。

 ホイールキャリア内アクスルシャフトクランプボルト

- 19 Nm

• フロントホイールスタンドを取り外します。



• ブレーキキャリパをブレーキディスクに取り付けます。

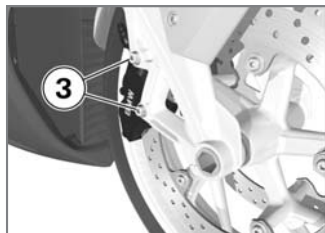
**!** ABS センサーケーブルがブレーキディスクに接触する




と、ケーブルが摩耗するおそれがあります。

ABS センサーケーブルが正しく取り回されているか注意してください。◀

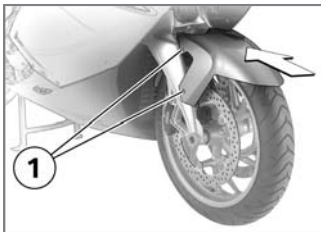
- ABS センサーケーブルを慎重に取り回します。その際、ABS センサーケーブルがホルドクランプ 8 に留められていることを確認します。



- 左右の固定ボルト 3 を規定トルクで締め付け、取り付けます。

 フロントブレーキキャリア パとホイールキャリア
- 30 Nm

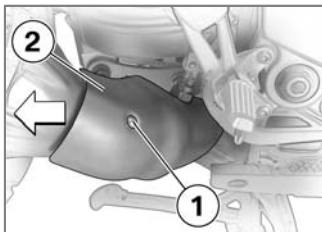
- ホイールリムに貼られているマスキングテープなどをはがします。



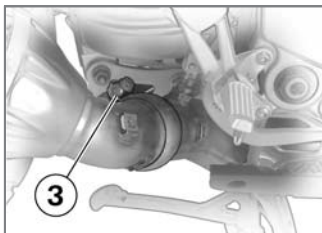
- フロントフェンダーと左右ボルト 1 を取り付けます。
- 抵抗が感じられるようになるまで、ブレーキレバーを数回強く操作します。

## リヤホイールを取り外す

- モーターサイクルを補助スタンドで立てます。BMW Motorrad は、BMW Motorrad リヤホイールスタンドの使用をお勧めします。
  - リヤホイールスタンドを取り付ける (➡ 100)
- メイン (センター) スタンド<sup>OA</sup>あり
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。◀



- ボルト 1 をマフラーカバー 2 から取り外します。
- カバーを後方へ引いて外します。



- マフラーのクランプストラップ 3 を外します。

- クランプのシールグリスは取り除かないでください。



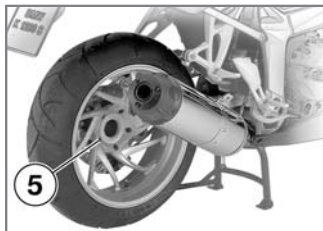
- マフラーホルダーのボルト 4 を、パッセンジャー用フットレストから取り外します。
- マフラーを外側へ回します。
- ギヤを 1 速に入れます。



- ホイールを保持しながら、リヤホイールの固定ボルト 5 を取り外します。
- BMW Motorrad リヤホイールスタンドを使用する場合：ロックワッシャーを取り外します。
- リヤホイールを地面に下ろします。
- リヤホイールを後方へ転がして取り外します。
- BMW Motorrad リヤホイールスタンドを使用する場合：ロックワッシャーを再度取り付けます。

## リヤホイールを取り付ける

**!** ボルト締め付け部の締め付けトルクが不適切な場合、締め付けが緩んだり、ボルト締め付け部が損傷するおそれがあります。締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad デイラーに依頼してください。◀



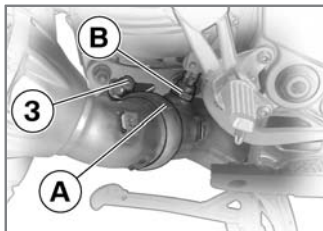
- ホイールスタッド **5** を取り付け、対角の順に規定トルクで締め付けます。

リヤホイールとホイールフランジ
– 締め付け順序: 対角の順に締め付ける
– 60 Nm
– 締め付け順序: 対角の順に締め付ける
– 60 Nm

- マフラーを回し、元の位置に戻します。



- マフラーのホルダーのボルト **4** をパッセンジャー用フットレストに取り付けます。ただし、まだ締め付けしないでください。



- マフラーのクランプ **3** のマーキング **A** ( 矢印 ) がラムダセン

サー B へ向くように調整します。

- クランプストラップ 3 を締付けトルクでマフラーに締め付けます。



マフラーとマニホールド

- 35 Nm



**!** リヤホイールとマフラーの間隔が狭い場合、リヤホイールが過熱するおそれがあります。

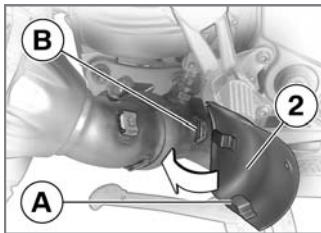
リヤホイールとマフラーの間隔は、10 mm 以上必要です。◀

- マフラーホルダーのボルト 4 を、パッセンジャー用フットレストに締付けトルクで締め付けます。

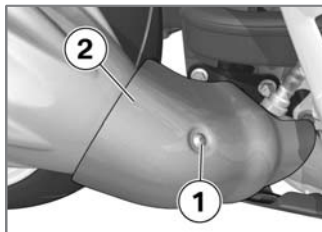


マフラーと右パッセンジャー用フットレスト

- 16 Nm



- マフラーカバー 2 をガイド A と共にクランプ B に押し込みます。



- ボルト 1 をマフラーカバー 2 に取り付けます。
- 補助スタンドが取り付けられている場合は取り外します。

## フロントホイールスタンド

### フロントホイールスタンド

フロントホイールを簡単かつ安全に交換できるように、BMW Motorrad ではフロントホイールスタンドをご用意しております。フロントホイールスタンド ( BMW スペシャルツール番号 36 3 971 ) は、BMW Motorrad ディーラーでお求めください。

ご使用に際しては、アダプターピース (BMW スペシャルツール番号 36 3 973) も必要になります。

**!** BMW Motorrad フロントホイールスタンドは、メイン (センター) スタンドや他の補助スタンドを使用しないでモーターサイクルを保持できるようには設計されていません。モーターサイクルをフロントホイールスタンドとリヤホイールのみで立てると、転倒するおそれがあります。

モーターサイクルは、BMW Motorrad フロントホイールスタンドで持ち上げる前に、メイン (センター) スタンドまたは補助スタンドで立ててください。◀

## フロントホイールスタンドを取り付ける

- モーターサイクルを補助スタンドで立てます。BMW Motorrad

は、BMW Motorrad リヤホイールスタンドの使用をお勧めします。

- リヤホイールスタンドを取り付ける (➡ 100)

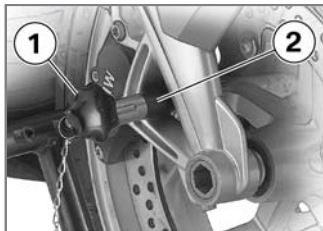
メイン (センター) スタンド<sup>OA</sup>あり

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。◀



- 調整ボルト 1 を緩めます。
- 両方の取付けピン 2 を外側へ押し、フロントサスペンションが間に収まるようにします。

- フロントホイールスタンドを、固定ピン 3 を使用して希望の高さに調整します。
- フロントホイールスタンドをフロントホイールのセンターに合わせ、フロントアクスルに押し込みます。

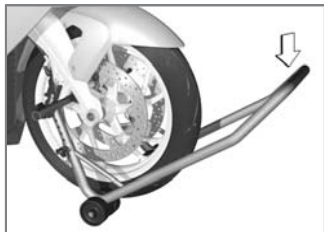


- 両方の取り付けピン 2 をブレーキキャリア固定部の三角部分に通して、フロントホイールがまだ回転する程度まで内側へ押します。

**!** BMW Integral ABS の場合、ABS センサーリングが損傷するおそれがあります。取り付けピンは、BMW Integral

ABS のセンサーリングに触れない程度に、内側へ押ししてください。◀

- 調整ボルト 1 を締め付けます。



**!** モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てた場合：モーターサイクル前部を持ち上げすぎると、メイン（センター）スタンドが地面から浮き上がり、モーターサイクルが横転する可能性があります。

持ち上げる際には、メイン（センター）スタンドが常に接

地しているように注意してください。◀

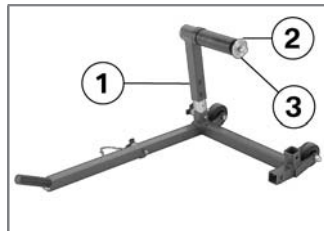
- フロントホイールスタンドを左右均等に押し下げ、モーターサイクルを持ち上げます。

## リヤホイールスタンド

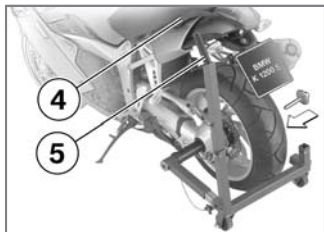
### リヤホイールスタンド

センタースタンドを装備していないモーターサイクルでも安全に作業できるように、BMW Motorrad は、リヤホイールスタンドを提供しています。このリヤホイールスタンド（BMW スペシャルツール番号 36 3 980）は、BMW Motorrad ディーラーでお求めください。

## リヤホイールスタンドを取り付ける



- リヤホイールスタンドを、ボルト 1 を使用して希望の高さに調整します。
- ロック解除用ボタン 3 を押して、ロックワッシャー 2 を外します。



- リヤホイールスタンドを左側からリヤアクスルに押し込みます。
- ロック解除用ボタンを押し、リテーニングディスクを右側から取り付けます。
- 左手をmotorサイクルの左グラブハンドル 4 に、右手をリヤホイールスタンドのレバー 5 に置きます。

- motorサイクルを起こしながら、同時にレバーを押し下げ、motorサイクルを垂直に立てます。



- 接地するまでレバーを押し下します。

## バルブ

### 一般的な情報

バルブの故障は、ディスプレイのバルブ故障マークにより警告されます。ブレーキライトまたはテールライトの故障の場合は、さらにジェネラル警告灯（黄）が点灯します。テールライトが故障すると、代わりにブレーキライトが使用され、2番目のフィラメントの光度がテールライトのレベルに減光されます。その際も、テールライトの故障は、ディスプレイに表示されたままになります。



バルブが故障していると、他の走行者などから見えにくくなり、ライダーとmotorサイクルが危険にさらされることとなります。

故障したバルブはできるかぎり早く交換してください。適切なスペアのバルブを常備しておくといえます。◀

**!** バルブには圧力がかけられているため、損傷した際にはケガをするおそれがあります。

バルブの交換時は、防護用のメガネおよび手袋を着用してください。◀

▶ あなたのモーターサイクルに取り付けられているバルブのタイプを記した一覧表が「仕様（諸元）」の章にあります。◀

▶ 新しいバルブに素手で触れないでください。バルブを取り付ける際は、乾いた清潔な布を使用してください。オイルやグリースなどの汚れがバルブに付着すると、バルブの熱放射が妨げられます。これが、過熱やバルブの寿命を短くする原因となります。◀

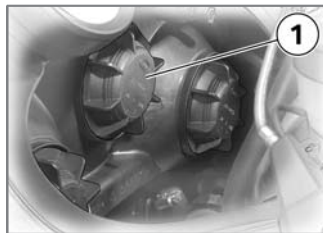
## ロービームバルブを交換する

**!** 次の作業では、モーターサイクルが確実に立てられていない場合に転倒するおそれがあります。

モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

▶ 作業がしやすくなるよう、ハンドルバーを左に回して下さい。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- カバー 1 を反時計回りに回して緩め、取り外します。

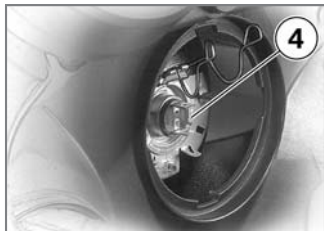


- コネクター 2 を外します。





- 左右スプリングクランプ 3 をホルダーから外し、上へ折り曲げます。

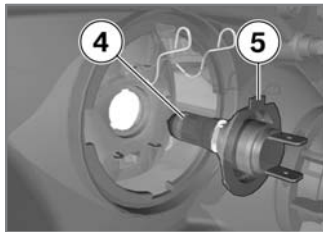


- バルブ 4 を取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。



ロービームバルブ

- H7 / 12 V / 55 W



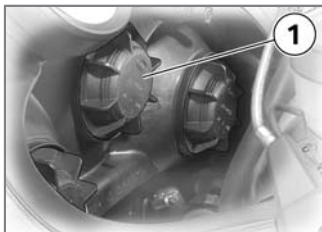
- バルブ 4 を取り付けます。その際、ノーズ 5 が上方へ向くように注意します。



- 左右スプリングクランプ 3 をホルダーに固定します。



- コネクター 2 を接続します。



- カバー 1 を時計回りに回して取り付けます。

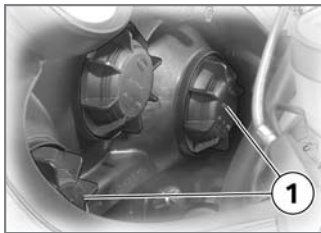
### ハイビームバルブを交換する

**!** 次の作業では、モーターサイクルが確実に立てられていない場合に転倒するおそれがあります。

モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

▶ 作業がしやすくなるよう、ハンドルバーを左に回して下さい。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



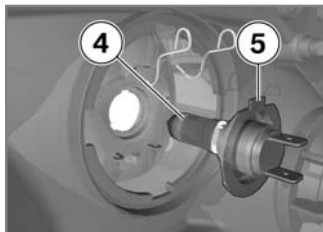
- カバー 1 を反時計回りに回して緩め、取り外します。



- コネクター 2 を外します。



- 左右スプリングクランプ 3 をホルダーから外し、上へ折り曲げます。



- バルブ 4 を取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。

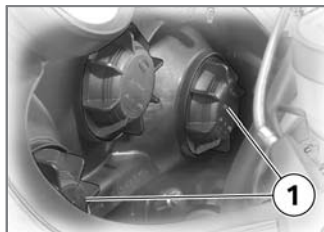
- バルブ 4 を取り付けます。その際、ノーズ 5 が上方へ向くように注意します。

- コネクター 2 を接続します。



ハイビームバルブ

- H7 / 12 V / 55 W



- 左右スプリングクランプ 3 をホルダーに固定します。

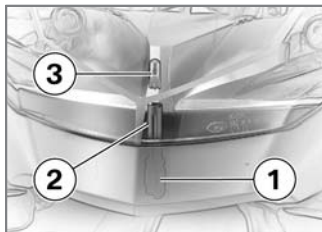
- カバー 1 を時計回りに回して取り付けます。

## ポジション / パーキングライトバルブを交換する

**!** 次の作業では、モーターサイクルが確実に立てられていない場合に転倒するおそれがあります。

モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。

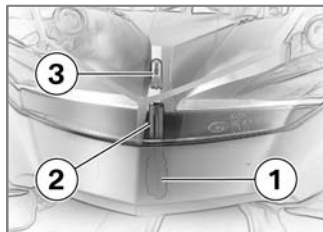


- ヘッドライト下のコネクター 1 を引いて外します。
- バルブソケット 2 を反時計回りに回して、ヘッドライトハウジングから取り外します。
- バルブ 3 をバルブソケットから取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。



ポジション / パーキング  
ライトバルブ

- W5W / 12 V / 5 W



- バルブ 3 をバルブソケット 2 にセットします。
- バルブソケットを時計回りに回してヘッドライトハウジングに取り付けます。
- ヘッドライト下のコネクター 1 を接続します。

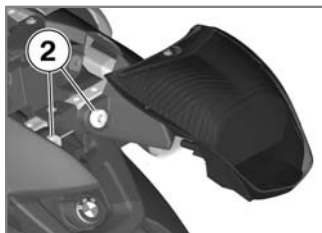
## ブレーキライト / テールライトバルブを交換する

**!** 次の作業では、モーターサイクルが確実に立てられていない場合に転倒するおそれがあります。

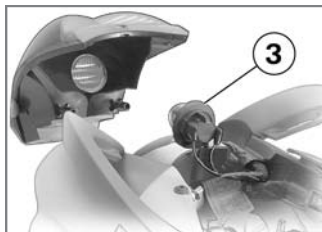
モーターサイクルがしっかりと

と立っているか確認してください。◀

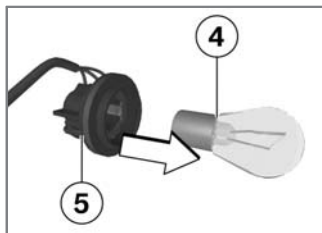
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。
- シートを取り外す (➡ 50)



- バルブハウジング 2 を後方へ引いて、ホルダーから取り外します。



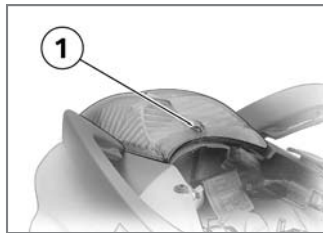
- バルブソケット 3 を反時計回りに回し、バルブハウジングから取り外します。



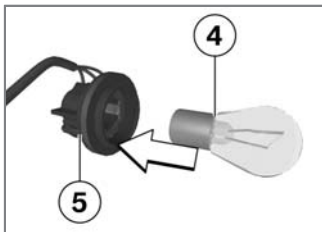
- バルブ 4 をソケット 5 に押し込み、反時計回りに回して取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。

テールライト / ブレーキ  
ライトバルブ

- P21W / 12 V / 21 W



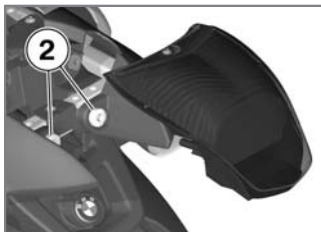
- ボルト 1 を取り外します。



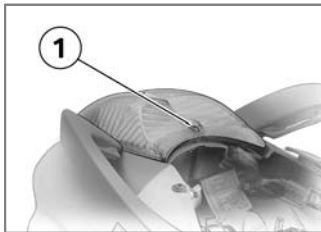
- バルブ 4 をソケット 5 に押し込み、時計回りに回して取り付けます。



- バルブソケット 3 を時計回りに回してバルブハウジングに取り付けます。



- バルブハウジングをホルダー 2 にセットします。

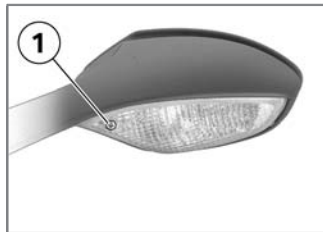


- ボルト 1 を取り付けます。
- シートを取り付ける (➡ 51)

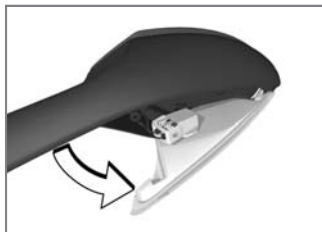
## フロントウインカーバルブを交換する

**⚠** 次の作業では、モーターサイクルが確実に立てられていない場合に転倒するおそれがあります。モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- ボルト 1 を取り外します。



- バルブ 3 をバルブソケットから取り外します。
- 故障しているバルブを交換します



フロントウインカー  
バルブ

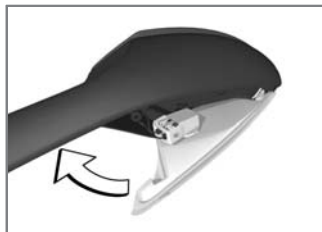
- W16W / 12 V / 16 W

- バルブハウジングのボルト固定側をミラーハウジングから引いて外します。

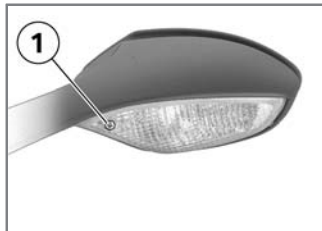


- バルブ 3 をバルブソケット 2 にセットします。
- バルブソケットを時計回りに回してバルブハウジングに取り付けます。

- バルブソケット 2 を反時計回りに回し、バルブハウジングから取り外します。



- バルブハウジングをミラーハウジングにセットします。

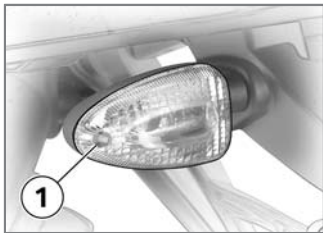


- ボルト 1 を取り付けます。

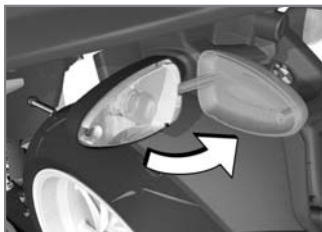
## リヤウインカーバルブを交換する

**!** 次の作業では、モーターサイクルが確実に立てられていない場合に転倒するおそれがあります。モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

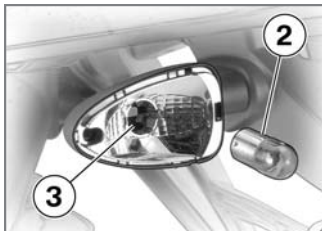
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- ボルト 1 を取り外します。



- バルブハウジングのボルト固定側を、ウインカーハウジングから引いて外します。



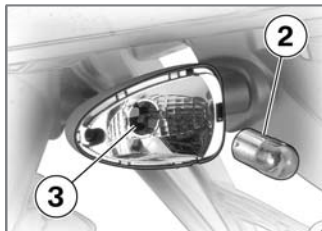
- バルブ 2 をソケット 3 に押し込み、反時計回りに回して取り外します。

- 故障しているバルブを交換します。



リヤウインカーバルブ

- R10W / 12 V / 10 W



- バルブ 2 をソケット 3 に押し込み、時計回りに回して取り付けます。



## ジャンプスタート

**!** 電源ソケット用電気配線の負荷容量は、他車のバッテリーなどと接続してモーターサイクルを始動させるようには設計されていません。高電流により、ケーブルから火災が発生したり、車両の電子機器が損傷するおそれがあります。

モーターサイクルのジャンプスタートを行う際に、電源ソケットは使用しないでください。◀

**!** エンジン作動時に、イグニッションシステムの通電部品に触れると、感電するおそれがあります。

エンジン作動時は、イグニッションシステムの部品に決して触れないでください。◀

**!** ジャンパーコードのターミナルクランプと車両間の接続を誤ると、ショートが引き起こされるおそれがあります。必ず、完全絶縁タイプのワニ

口クランプをつけたジャンパーコードを使用してください。◀

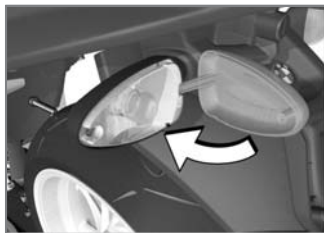
**!** ジャンプスタートを 12 V より高い電圧で行うと、車両の電子機器が損傷するおそれがあります。

供給側車両のバッテリー電圧が、12 Vであることを確認してください。◀

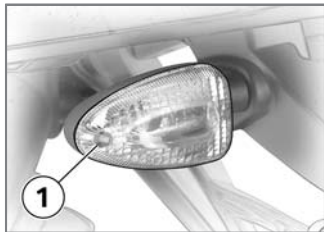
**!** 次の作業では、モーターサイクルが確実に立てられていない場合に転倒するおそれがあります。

モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

- ジャンプスタートを行う際、バッテリーを車両電装システムから外さないでください。
- バッテリー収納部カバーを取り外す (➡ 114)
- ジャンプスタートを行っている間、供給側バッテリー車両のエンジンを作動させておきます。



- バルブハウジングをウインカーハウジングに取り付けます。



- ボルト 1 を取り付けます。

- ジャンパーコード（赤）の一方の先端を、まず放電したバッテリー車両のプラスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を供給側バッテリー車両のプラスターミナルに接続します。
- ジャンパーコード（黒）の一方の先端を供給側バッテリー車両のマイナスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を放電したバッテリー車両のマイナスターミナルに接続します。
- 放電したバッテリー側の車両のエンジンを、通常の方法で始動させます。正常に始動しなかった場合は、スターターと供給側バッテリーの保護のため、数分経ってから再始動させてください。
- 取り外す前に、両車両のエンジンをそのまま数分間作動させておいてください。
- ジャンパーコードは、まずマイナスターミナルから外し、そ

の後プラスターミナルから外します。

- バッテリー収納部カバーを取り付ける (⇒ 114)

## バッテリー

### メンテナンスに関する注意

正しいメンテナンス、充電、保管は、バッテリーの寿命を延ばし、また、保証のための前提条件となります。

バッテリーの寿命を延ばすために、以下のことに注意してください。

- バッテリーの表面を、清潔で乾いた状態に保つ
- バッテリーを開けない
- バッテリーに水を補充しない
- バッテリーの充電の際は、必ず、次ページ以降の注意事項に従う
- バッテリーを逆さまにしない




バッテリーを接続したままにしておくと、電装品（時計など）がバッテリーを放電してしまいます。これは、バッテリーの過放電の原因になります。この場合は、保証の対象になりません。

4週間以上車両を使用しない場合には、バッテリーの接続を車両から外すか、放電防止装置をバッテリーに接続してください。◀





BMW Motorrad では、ご使用のモーターサイクルの電子機器専用トリクルチャージャーを開発いたしました。このチャージャーを使用すれば、車両を長期間使用しない場合でも、バッテリーを接続した状態で充電しておくことができます。詳しい情報については、BMW Motorrad デイラーにお問合せください。◀

## 接続しているバッテリーを充電する

 バッテリーを接続したままバッテリーターミナルから直接充電すると、車両の電子機器に損傷が生じるおそれがあります。

バッテリーターミナルからバッテリーの充電を行う場合は、その前にバッテリーを車体から取り外してください。◀

 イグニッションが ON の状態で、インジケーターおよびマルチファンクションディスプレイが消灯したままの場合は、バッテリーが完全に放電しています。完全に放電したバッテリーの充電を電源ソケットから行くと、車両の電子機器に損傷が生じるおそれがあります。完全に放電したバッテリーは、必ず接続を外し、ターミナルから直接充電してください。◀

 バッテリーの充電を電源ソケットから行う場合は、適切なバッテリーチャージャーを使用してください。不適切なバッテリーチャージャーを使用すると、車両の電子機器が故障することがあります。


部品番号 71 60 7 688 864

( 220 V ) または


71 60 7 688 865 ( 110 V ) の

BMW バッテリーチャージャーを使用してください。手元にない場合は、外したバッテリーを直接ターミナルから充電してください。◀

● 接続しているバッテリーに電源ソケットから充電します。


 バッテリーがフル充電されると、車両の電子機器が検知します。この場合、電源ソケットの回路は遮断されます。◀

● チャージャーの取扱説明書に従ってください。

 電源ソケットからバッテリーの充電ができない場合、使用されたチャージャーがモーターサイクルの電子機器に適合していない可能性があります。この場合、接続を外したバッテリーのターミナルから、直接バッテリーを充電してください。◀

## 外したバッテリーを充電する

- 適切なチャージャーを使用して、バッテリーを充電します。
- チャージャーの取扱説明書に従ってください。
- 充電が終了したら、チャージャーのターミナルクランプをバッテリーターミナルから外します。

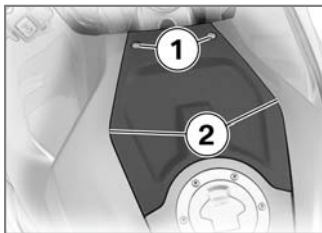
 長期間車両を使用しない場合は、バッテリーを定期的に充電する必要があります。その場合は、そのバッテリーの取り扱い規定に従ってください。また、再使用する前に必ずバッテリーをフル充電してください。◀

## バッテリー収納部カバーを取り外す

**!** 次の作業では、モーターサイクルが確実に立てられていない場合に転倒するおそれがあります。

モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- シートを取り外す (⇒ 50)



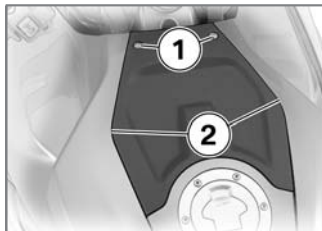
- ボルト 1 を取り外します。その際、ロック 2 に注意します。
- バッテリー収納部のカバーを前方上側へ取り外します。

## バッテリー収納部カバーを取り付ける

**!** 次の作業では、モーターサイクルが確実に立てられていない場合に転倒するおそれがあります。

モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

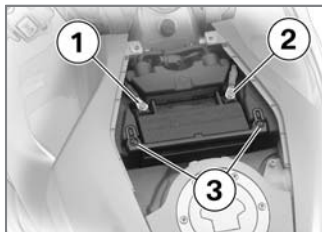
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- バッテリー収納部のカバーを組み込みます。その際、ロック 2 に注意します。
- ボルト 1 を取り付けます。
- シートを取り付ける (⇒ 51)

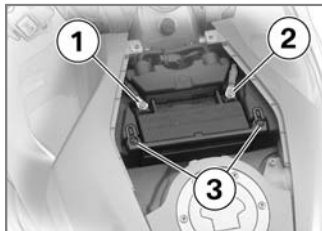
## バッテリーを取り外す

- バッテリー収納部カバーを取り外す (⇒ 114)



## バッテリーを取り付ける

- イグニッションを OFF にします。
- バッテリーを、プラスターミナルが進行方向で右側にくるように、バッテリー収納部にセットします。



- クランプをバッテリー越しに押し、ボルト 3 を取り付けます。

**!** 取り付け順序を間違えると、ショートの大危険性が高まります。  
必ず作業順序を遵守してください。

バッテリーを取り付ける際には、必ず保護キャップを付けてください。◀

- まずバッテリープラス配線 2 を取り付けます。
- その後、バッテリーマイナス配線 1 を取り付けます。
- バッテリー収納部カバーを取り付ける (➡ 114)
- イグニッションを ON にします。
- スロットルを 1、2 回全開にします。
- » エンジンマネジメントシステムが、スロットルバタフライ開度を検知します。
- 時計を調整する (➡ 40)

**!** 取り外し順序を間違えると、ショートの大危険性が高まります。  
必ず作業順序を遵守してください。◀

- 先にマイナス配線 1 を取り外します。
- その後、プラス配線 2 を取り外します。
- ボルト 3 を外し、クランプを後方へ引きます。
- バッテリーを持ち上げて取り外します。スムーズに外せない場合は、前後に動かすと外しやすくなります。




**お手入れ**

ケア用品 .....	118
洗車 .....	118
損傷しやすい車両部品のお 手入れ .....	118
ペイントのお手入れ .....	119
保護コーティング .....	120
長期保管 .....	120
再使用 .....	120

## ケア用品

ご使用になる洗剤やケア用品は、BMW Motorrad ディーラーでお求めください。BMW ケア製品は、原料のテスト、製品の研究機関におけるテストや試用テストが行われています。BMW ケア製品は、あなたの車両に使用されている材料のお手入れと保護を最適に行います。

 不適切なクリーナー / ケア製品を使用すると、モーターサイクルの部品が損傷するおそれがあります。

ニトロ希釈液、コールドクリーナー、ガソリンをはじめ、アルコールを含んだクリーナーを清掃に使用しないでください。◀

## 洗車


ペイントに付着している昆虫や硬化した汚れなどは、洗車の前に BMW 専用クリーナーで柔ら


かくして洗い流しておいてください。


しみができるのを避けるため、強い直射日光にさらされた直後や日向での洗車は行わないでください。

特に冬季の間は、洗車をより頻繁に行ってください。

路面に散布された塩を除去するため、走行後は、直ちにモーターサイクルを冷水で洗車します。

 モーターサイクルを水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行したりすると、ブレーキディスクとブレーキパッドが水に濡れた状態になり、ブレーキの効きが遅くなるおそれがあります。ブレーキが乾くまでは、早めにブレーキングしてください。◀

 温水を使用すると塩の化学反応が強まります。散布された塩を除去するには、必ず冷水を使用してください。◀


 スチームクリーナーの高い水圧により、シールや油圧ブレーキシステム、電装システム、シートが損傷するおそれがあります。スチームクリーナーや高圧ジェットは使用しないでください。◀

## 損傷しやすい車両部品のお手入れ

### プラスチック

プラスチック部品は、水と BMW プラスチックケア製品を使用して清掃してください。該当部品：

- ウインドシールド
- プラスチック製ヘッドライトレンズ
- メーターパネルのカバーガラス
- 非塗装ブラックパーツ

 プラスチック部品の清掃に不適切なクリーナーを使用



すると、表面が損傷するおそれがあります。


プラスチック部品を清掃する際には、アルコールや溶剤、研磨剤を含んだクリーナーは使用しないでください。

また、地面などに落ちたスポンジや、表面の硬いスポンジを使用した場合も、損傷を招くおそれがあります。◀

▶ 硬化した汚れや昆虫などの付着は、湿らせた布などをかぶせて柔らかくしてください。◀

## ウインドシールド

汚れや昆虫を、柔らかいスポンジと水を大量に使用して除去してください。


 ガソリンや化学溶剤はウインドシールドの素材を損ないます。ウインドシールドが曇り、見通せなくなります。洗剤は使用しないでください。◀

## クローム

クロームメッキ部分は、特に塩の作用を受けた際に、大量の水と BMW シャンプーで慎重に清掃してください。さらに処置を施す場合には、クロームポリッシャーを使用してください。


## ラジエター

ラジエターは、定期的に清掃してください。冷却が不十分なために起こるエンジンのオーバーヒートを避けるためです。園芸用ホースなどを使い、低い水圧で清掃してください。

 ラジエターのフィンは、簡単に曲がります。ラジエターを清掃をする際には、フィンを曲げないように注意してください。◀

## ラバー

ラバー部品の清掃には、水または BMW ラバークリーナーを使用してください。

 ラバーシールの手入れにシリコンスプレーを使用すると、損傷するおそれがあります。シリコンスプレーやシリコンを含んだケア製品を使用しないでください。◀

## ペイントのお手入れ

定期的に洗車を行うことにより、長期間にわたって影響を与え、ペイントを損傷する原因となる物質を除去することができます。特に、大気汚染が激しい地域や、樹脂や花粉などが付着するような地域を走行した場合などに効果的です。ただし、特に侵食性の高い物質の場合には、直ちに除去してください。ペイントの損傷や変色を引き起こすおそれがありま

す。侵食性の高い物質には、こぼれたフューエルやオイル、グリース、ブレーキ液、鳥のふんなどがあります。この場合、BMW ポリッシャーやBMW ペイントクリーナーを使用してください。

ペイントの表面仕上げに付着している汚れは、洗車後に特に見えやすくなります。このような汚れは、クリーニング用ベンジンまたはアルコールを清潔な布や綿球などに含ませて、直ちに除去してください。タール系の汚れには、BMW タールリムーバーをご使用ください。その後、その箇所のペイントを保護コーティングなどで保護します。


## 保護コーティング

ペイント保護コーティングのため、BMW ワックス、またはカルナバワックスや合成ワックスを含むコーティング剤を使用してください。

ペイントに保護コーティングを施すべきかどうか、最もよくわかるのは、水滴が水玉にならなくなった場合です。

## 長期保管

- 洗車します。
- バッテリーを取り外します。
- ブレーキレバー、クラッチレバー、メイン（センター）スタンド、サイドスタンドのピボットに、適切な潤滑剤を塗布します。
- 金属部品やクロームメッキ部品に中性のグリース（ワセリン）を塗布します。
- モーターサイクルを、両ホイールに負荷がかからない状態にして、乾燥した場所に保管します。

 モーターサイクルを長期保管する前に、エンジンオイルとオイルフィルターをBMW Motorrad デイラーで交換してください。モーターサイクルを長期保管する際や再使用する際

に、定期点検や整備の時期が近づいている場合、BMW Motorrad デイラーにサービスやインスペクションも同時に依頼してください。◀

## 再使用

- 表面に塗布されている保護用コーティングを取り除きます。
- 洗車します。
- 充電済みのバッテリーを取り付けます。
- 始動前に、チェックリストを確認します。

**仕様(諸元)**

トラブルシューティング .....	122
ボルト .....	123
エンジン .....	124
性能 .....	126
クラッチ .....	126
ギヤボックス .....	126
リヤホイールドライブ .....	128
サスペンション .....	128
ブレーキ .....	129
ホイールとタイヤ .....	129
エンジン電装 .....	130
フレーム .....	132
寸法 .....	132
重量 .....	133

## トラブルシューティング

エンジンが始動しない / 始動しにくい

### 考えられる原因

### 除去

イグニッションキルスイッチが操作されている。

イグニッションキルスイッチを通常の操作ポジションにする。

サイドスタンドが出ていて、ギヤが入っている。

サイドスタンドを格納する (⇒ 62)。

ギヤが入っていて、クラッチを切っていない

ギヤをニュートラルに入れるか、クラッチを切る (⇒ 62)。

イグニッションが OFF の状態で、クラッチが操作されている。

イグニッションを ON にしてから、クラッチを操作する。

燃料が入っていない。

給油 (⇒ 66)

バッテリーの充電が不足している。

接続しているバッテリーを充電する (⇒ 113)

## ボルト

フロントホイール	数値	有効
フロントブレーキキャリアとホイールキャリア		
M8 x 32 -10.9	30 Nm	
ホイールキャリア内アクスルシャフトクランピングボルト		
M8 x 30	19 Nm	
ブッシュ内アクスルシャフト		
M24 x 1.5	50 Nm	
リヤホイール	数値	有効
マフラーと右パッセンジャー用フットレスト		
M8 x 30	16 Nm	
マフラーとマニホールド		
M8 x 60 - 10.9	35 Nm	
リヤホイールとホイールフランジ		
ブッシュ付きホイールキャリア, M10 x 43 x 1.25	対角の順に締め付ける 60 Nm	

## リヤホイール

## 数値

## 有効

スレッド付きホイールキャリア, M10 x 40 x 1.25	対角の順に締め付ける	
	60 Nm	

## エンジン

## 構造

エンジン型式	横置き前傾角 55° 水冷直列 4 気筒 4 ストローク、1 気筒あたり 4 バルブ、DOHC、ロッカーアーム制御、電子制御燃料噴射、一体型 6 速力セットギヤ、ドライサンプ潤滑方式
--------	---

## 仕様 (諸元)

排気量	1157 cm <sup>3</sup>
シリンダーボア	79 mm
ピストンストローク	59 mm
圧縮比	13 : 1
最高出力	123 kW, エンジン回転数: 10250 min <sup>-1</sup>
低出力仕様 74kW <sup>OE</sup> あり	74 kW, エンジン回転数: 7000 min <sup>-1</sup>
低出力仕様 79kW <sup>OE</sup> あり	79 kW, エンジン回転数: 8750 min <sup>-1</sup>
最大トルク	130 Nm, エンジン回転数: 8250 min <sup>-1</sup>
低出力仕様 74kW <sup>OE</sup> あり	110 Nm, 時: 5250 min <sup>-1</sup>

低出力仕様 79kW <sup>OE</sup> あり	103 Nm, 時: 4500 min <sup>-1</sup>
許容最高回転数	11000 min <sup>-1</sup>
アイドル回転数	1150 <sup>±50</sup> min <sup>-1</sup>
<b>燃料</b>	
推奨されている燃料の種類	98 ROZ/RON, 無鉛プレミアム 95 ROZ/RON, 無鉛スーパー (出力および燃費に関する条件付きで使用可能な燃料の種類)
フューエル容量	19 l, 使用可能 4 l, リザーブ容量
<b>エンジンオイル</b>	
エンジンオイル総量	3.5 l, フィルター交換時 0.5 l, MIN / MAX 間の差
潤滑剤	Castrol GPS 10W-40 (SAE 10W40; API SG; JASO MA)
オイルグレード	API クラス SF から SH までの鉱物性エンジンオイル。オイル添加物はクラッチ機能を悪化させる場合があるため、BMW Motorrad はオイル添加物の使用を認めていません。ご愛用のモーターサイクルに適したエンジンオイルについては、BMW Motorrad デイラーにおたずねください。

**許容粘度グレード**

SAE 10 W-40

≥-20 °C, 低温での作動

SAE 15 W-40

≥-10 °C

**性能**

最高速度

&gt;200 km/h

**クラッチ**

クラッチ構造

湿式多板クラッチ

**ギヤボックス**

ギヤボックス構造

常時噛み合い式 6 速トランスミッションをエンジンブロックに内蔵



## ギヤ比

ギヤレシオ

1.559 ( 92:59 丁 ), プライマリーギヤレシオ  
2.294 ( 39:17 丁 ), 1 速  
1.789 ( 34:19 丁 ), 2 速  
1.458 ( 35:24 丁 ), 3 速  
1.240 ( 31:25 丁 ), 4 速  
1.094 ( 35:32 丁 ), 5 速  
0.971 ( 33:34 丁 ), 6 速  
1.045 ( 23:22 丁 ), ベベルギヤ

## リヤホイールドライブ

リヤホイールドライブ型式	ベベルギヤ付きシャフトドライブ
リヤホイールドライブのギヤレシオ	2.82

## サスペンション

フロントサスペンション型式	ダブルリーディングアーム
フロントサスペンショントラベル合計	115 mm, スタティック 125 mm, ダイナミック
リヤホイールサスペンション型式	レバーシステムにより操作されるセンタースプリングストラット。コイルプレッシャースプリングとシングルチューブガス封入式ショックアブソーバー付き。スプリングプリロードは油圧式で無段階に調整可能、リバウンドダンピングは無段階に調整可能
電子調整式サスペンション ( ESA ) <sup>OE</sup> あり	レバーシステムにより操作されるセンタースプリングストラット。コイルプレッシャースプリングとシングルチューブガス封入式ショックアブソーバー付き。スプリングベースは 3 段階、リバウンド / コンプレッションダンピングはそれぞれ 3 段階に調整可能
リヤ総サスペンショントラベル	135 mm, ホイールで

## ブレーキ

フロントブレーキ型式	4ピストン固定キャリパを装備した油圧式ダブルディスクブレーキ。ブレーキディスクをフローティングマウント。
フロントブレーキパッド素材	焼結合金
リヤブレーキ型式	2ピストンフローティングキャリパを装備した油圧式ディスクブレーキ。ブレーキディスクは固定式。
リヤブレーキパッド素材	有機素材

## ホイールとタイヤ

フロントホイール型式	アルミキャストホイール、MT H2
フロントホイールリムサイズ	3.50" x 17"
フロントタイヤサイズ	120/70 ZR 17
リヤホイール型式	アルミキャストホイール、MT H2
リヤホイールリムサイズ	6.00" x 17"
リヤタイヤサイズ	190/50 ZR17

**タイヤ空気圧**

フロントタイヤ空気圧

2.5 bar, 1 名乗車時 ( タイヤ冷間時 )  
2.5 bar, 2 名乗車および / または荷物積載 ( タイヤ冷間時 )

リヤタイヤ空気圧

2.9 bar, 1 名乗車時 ( タイヤ冷間時 )  
2.9 bar, 2 名乗車および / または荷物積載 ( タイヤ冷間時 )**エンジン電装**

電源ソケット負荷定格

5 A

ヒューズ

すべての電気回路が電子制御により保護されていますので、差し込み式ヒューズは必要ありません。電子ヒューズにより電気回路が遮断された場合、故障の修理後にイグニッションを ON にすると、電気回路は再び作動状態になります。

**構造**

バッテリー型式

AGM ( 吸着ガラスマット ) バッテリー

**仕様 ( 諸元 )**

バッテリー定格電圧

12 V

バッテリー定格容量

14 Ah

仕様 (諸元)	
スパークプラグメーカーおよび名称	NGK KR9CI
スパークプラグギャップ	0.8 mm, 新品時の状態
スパークプラグギャップ (摩耗限度)	摩耗限度はありません (スパークプラグはメンテナンススケジュールに従って交換されます)
バルブ	
ハイビームバルブ	H7 / 12 V / 55 W
ロービームバルブ	H7 / 12 V / 55 W
ポジション / パーキングライトバルブ	W5W / 12 V / 5 W
テールライト / ブレーキライトバルブ	P21W / 12 V / 21 W
フロントウインカーバルブ	W16W / 12 V / 16 W
リヤウインカーバルブ	R10W / 12 V / 10 W

## フレーム

フレーム型式	スチールパイプリヤフレームをボルトで固定した 軽合金鋳造 / 溶接構造
型式プレート位置	リヤフレームクロスパイプ
フレーム番号位置	右フロントフレームサイドセクション

## 寸法

全長	2182 mm
全幅	905 mm, ミラー含む
全高	1211 mm, 空車時
ライダーシート高	820 mm, ライダー非乗車時
ローフロントシート <sup>OE</sup> あり	790 mm, ライダー非乗車時

## 重量

車両重量	248 kg, 車両重量 ( 走行可能状態、燃料満載時の 90 %、オプション非装備 )
許容総重量	450 kg
最大積載荷重	202 kg






## サービス

BMW Motorrad サービス .....	136
BMW Motorrad サービスクオリティ .....	136
BMW Motorrad サービスネットワーク .....	136
ワーク .....	136
メンテナンス作業 .....	137
メンテナンススケジュール .....	137
点検記録 .....	138
一般整備記録 .....	143

## BMW Motorrad サービス

常に進歩し続ける技術には、専用のメンテナンスおよび修理方法で対応することが不可欠です。

 適切でないメンテナンスや修理作業がなされた場合、損傷したり、安全にかかわる危険が発生します。

BMW Motorrad では、モーターサイクルに関する作業は BMW Motorrad デイラーに依頼することをお勧めします。◀

サービス、インスペクション、アニュアルサービスの内容につきましては、BMW Motorrad デイラーにおたずねください。

実施すべきメンテナンスおよび修理作業については、本書の「サービス」の章でご確認ください。

BMW Motorrad デイラーには常に最新の技術情報が提供されており、必要な技術的ノウ

ハウを蓄積しています。BMW Motorrad は、ご愛用のモーターサイクルに関するどのような事柄でも、BMW Motorrad デイラーに相談なさることをお勧めいたします。

## BMW Motorrad サービス クオリティ

BMW Motorrad がご提供するものは良質の製品や高い信頼性のみに留まりません。サービスのクオリティも、際立っています。

あなたの BMW Motorrad が最適な状態にあるかどうか確認するため、BMW Motorrad デイラーで、規定の定期点検を実施してください。また、保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合にも、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。

摩耗は徐々に進行するため、気がついたときには多額の修理費がかかることもまれではありません。

せん。BMW Motorrad デイラーには、個々のモーターサイクルの正確な履歴が保存されています。このため、ささいな問題が大規模な故障に発展する前に、的確なアドバイスを受けることができます。必要な修理を、正しいタイミングで的確に実施することで、時間と経費を節約できます。

## BMW Motorrad サービス ネットワーク

BMW Motorrad の広範囲にわたるサービスネットワークは、世界 100 ヶ国以上でお客様とモーターサイクルへのサービスを提供しています。ドイツ国内のみにおいても、約 200 の BMW Motorrad デイラーでしっかりとした対応を受けられます。世界のディーラーネットワークに関する情報はすべて、冊子「Service Contact Europe」または「Service Contact

Africa, America, Asia, Australia, Oceania」にあります。

## メンテナンス作業

### インターバル

メンテナンス作業は、時間の経過 / 走行距離に応じて実施します。

### BMW 初回点検

500 ~ 1200 km の間に必ず BMW 初回点検を行ってください。

### BMW アニュアルサービス

少なくとも 1 年に 1 度は、メンテナンス作業を実施する必要があります。ここでは、それまでの走行距離に応じた作業も行います。

## BMW サービス

最初の 10000 km 後およびそれから 20000 km ごと ( 30000 km、50000 km、70000 km... )。1 年以内でも、この走行距離に達した時点で実施します。

## BMW インスペクション

最初の 20000 km 後およびそれから 20000 km ごと ( 40000 km、60000 km、80000 km... )。1 年以内でも、この走行距離に達した時点で実施します。

## メンテナンススケジュール

モーターサイクルに適用されるメンテナンススケジュールは、モーターサイクルの装備、年式、走行距離によって異なります。最新のメンテナンススケジュールについては、お近

くの BMW Motorrad デイラーにお問い合わせください。

## 点検記録

**BMW 納車前点検  
( PDI )**

ワークショップ規定に従って作業を実施しました。

\_\_\_\_\_  
日付、スタンプ、署名

**BMW 初回点検**

ワークショップ規定に従って作業を実施しました。

距離 ( km ) \_\_\_\_\_

ブレーキフルード交換

\_\_\_\_\_  
日付、スタンプ、署名

**BMW サービス**

- BMW アニュアルサービス
- BMW サービス
- BMW インスペクション

ワークショップ規定に従って作業を実施しました。

距離 ( km ) \_\_\_\_\_

- ブレーキフルード交換

\_\_\_\_\_  
日付、スタンプ、署名

**BMW サービス**

- BMW アニュアルサービス
- BMW サービス
- BMW インスペクション

ワークショップ規定に従って作業を実施しました。

距離 ( km ) \_\_\_\_\_

- ブレーキフルード交換

\_\_\_\_\_  
日付、スタンプ、署名

**BMW サービス**

- BMW アニュアルサービス
- BMW サービス
- BMW インスペクション

ワークショップ規定に従って作業を実施しました。

距離 ( km ) \_\_\_\_\_

- ブレーキフルード交換

\_\_\_\_\_  
日付、スタンプ、署名

**BMW サービス**

- BMW アニュアルサービス
- BMW サービス
- BMW インスペクション

ワークショップ規定に従って作業を実施しました。

距離 ( km ) \_\_\_\_\_

- ブレーキフルード交換

\_\_\_\_\_  
日付、スタンプ、署名

**BMW サービス**

- BMW アニュアルサービス
- BMW サービス
- BMW インスペクション

ワークショップ規定に従って作業を実施しました。

距離 ( km ) \_\_\_\_\_

- ブレーキフルード交換

\_\_\_\_\_  
日付、スタンプ、署名

**BMW サービス**

- BMW アニュアルサービス
- BMW サービス
- BMW インスペクション

ワークショップ規定に従って作業を実施しました。

距離 ( km ) \_\_\_\_\_

- ブレーキフルード交換

\_\_\_\_\_  
日付、スタンプ、署名

**BMW サービス**

- BMW アニュアルサービス
- BMW サービス
- BMW インスペクション

ワークショップ規定に従って作業を実施しました。

距離 ( km ) \_\_\_\_\_

- ブレーキフルード交換

\_\_\_\_\_  
日付、スタンプ、署名

**BMW サービス**

- BMW アニュアルサービス
- BMW サービス
- BMW インスペクション

ワークショップ規定に従って作業を実施しました。

距離 ( km ) \_\_\_\_\_

- ブレーキフルード交換

\_\_\_\_\_  
日付、スタンプ、署名

**BMW サービス**

- BMW アニュアルサービス
- BMW サービス
- BMW インスペクション

ワークショップ規定に従って作業を実施しました。

距離 ( km ) \_\_\_\_\_

- ブレーキフルード交換

\_\_\_\_\_  
日付、スタンプ、署名

**BMW サービス**

- BMW アニュアルサービス
- BMW サービス
- BMW インスペクション

ワークショップ規定に従って作業を実施しました。

距離 ( km ) \_\_\_\_\_

- ブレーキフルード交換

\_\_\_\_\_  
日付、スタンプ、署名

**BMW サービス**

- BMW アニュアルサービス
- BMW サービス
- BMW インスペクション

ワークショップ規定に従って作業を実施しました。

距離 ( km ) \_\_\_\_\_

- ブレーキフルード交換

\_\_\_\_\_  
日付、スタンプ、署名

**BMW サービス**

- BMW アニュアルサービス
- BMW サービス
- BMW インスペクション

ワークショップ規定に従って作業を実施しました。

距離 ( km ) \_\_\_\_\_

- ブレーキフルード交換

\_\_\_\_\_  
日付、スタンプ、署名







## E

- ESA, 56
  - ショックアブソーバーを調整する, 57
  - スプリングプリロードを調整する, 57
  - 設定を表示する, 56

## EWS

- 警告表示, 24

## い

- イグニッション
  - OFF にする, 36
  - ON にする, 36
- イグニッションキルス
  - イッチ, 16, 45
- イモビライザー
  - 警告表示, 24
- インジケーター / 警告灯, 17

## う

- ウインカー
  - OFF にする, 16, 50
  - 左, 15, 49
  - 右, 16, 50

## え

- エンジン
  - エンジンマネジメントシステム
    - 警告表示, 24
    - 温度計, 20, 21
    - 仕様 ( 諸元 ), 124
- エンジンオイル
  - エンジンオイルプレッシャー警告表示, 25
  - エンジンオイルレベル警告表示, 26
  - 仕様 ( 諸元 ), 125
  - スタンドを点検する, 83
  - 排出する, 85
  - 補充する, 84
- エンジン電装
  - 仕様 ( 諸元 ), 130

## お

- オドメーター, 20
  - 操作, 39
  - トリップメーターをリセットする, 39
  - 表示を選択する, 39
  - ボタン, 15

- オンボードコンピューター
  - オイルレベル注意, 45
  - 外気温度, 43
  - 走行可能距離, 44
  - 表示を選択する, 42
  - 平均速度, 43
  - 平均速度をリセットする, 43
  - 平均燃費, 44
  - 平均燃費をリセットする, 44
  - ボタン, 15

## き

- 記号と意味, 6
- ギヤインジケーター, 20
- ギヤボックス
  - 始動時, 62
  - 仕様 ( 諸元 ), 126
- 給油, 66

## く

- クラッチ
  - 仕様 ( 諸元 ), 126
  - フルードリザーバータンク, 11, 13
- グリップヒーター, 16, 46

## け

- 警告灯, 17
- 警告表示, 20
  - 表示, 21
- 警告表示一覧, 22, 29, 32
- ケース
  - 調整する, 76, 78
  - 閉じる, 76
  - 取り付ける, 78
  - 取り外す, 77
  - 開く, 76

## さ

- サービス, 136
- サイドスタンド
  - 始動時, 62
- サスペンション
  - 仕様 ( 諸元 ), 128

## し

- シート
  - 取り付ける, 51
  - 取り外す, 50
  - ロック, 11, 13
- 車両
  - 再使用する, 120
  - 長期保管する, 120
  - 左側面, 11

- 右側面, 13
- ジャンプスタート, 111
- 修理キット, 79
- 仕様 ( 諸元 )
  - エンジン, 124
  - エンジンオイル, 125
  - エンジン電装, 130
  - ギヤボックス, 126
  - クラッチ, 126
  - サスペンション, 128
  - スパークプラグ, 131
  - 燃料, 125
  - バッテリー, 130
  - バルブ, 131
  - ブレーキ, 129
  - フレーム, 132
  - ホイールとタイヤ, 129
  - リヤホイールドライブ, 128

## す

- スターター, 16
- ステアリングロック, 37
- スパークプラグ, 131
- スピードメーター, 17

## せ

- セットアップ, 120

## そ

- 走行可能距離, 40
- 走行前点検, 63

## た

- タイヤ
  - 空気圧を点検する, 58
  - 仕様 ( 諸元 ), 129
  - 推奨, 91
  - トレッドの溝の深さを点検する, 90
- タイヤ空気圧コントロール
  - 操作, 42
  - 表示, 20
  - ホイールリム上のラベル, 91
- タコメーター, 17

## ち

- チェックリスト, 62
- 長期保管, 120

## つ

- ツールキット
  - サービスセット, 82
  - 標準セット, 82

## て

- 点検記録, 138
- 電源ソケット, 11, 13

## と

- 盗難警報装置, 17
- 時計, 20
  - 調整する, 40
- トラブルシューティング, 122
- トルク, 121

## ね

- 燃料
  - 給油する, 66
  - 仕様 ( 諸元 ), 125
  - 燃料残量警告表示, 24
  - レベル表示, 20

## は

- ハイビーム, 15
- ハザードランプ, 15, 16
  - OFF にする, 38
  - ON にする, 38
- バッシングライト, 15
- バッテリー
  - 仕様 ( 諸元 ), 130
  - 接続しているバッテリーを充電する, 113

- 取り付ける, 114, 115
- 取り外す, 114
- 外したバッテリーを充電する, 113
- バッテリーチャージ警告表示, 26

## バルブ

- 一般的な情報, 101
- 仕様 ( 諸元 ), 131
- テールライトバルブを交換する, 106
- ハイビームバルブを交換する, 104
- バルブ故障警告表示, 26, 27
- ブレーキライトバルブを交換する, 106
- フロントウインカーバルブを交換する, 108
- ポジション / パーキングライトバルブを交換する, 106
- リヤウインカーバルブを交換する, 110
- ロービームバルブを交換する, 102

- ハンドルバーフィッティング
  - 左側面, 15
  - 右側面, 16

## ひ

- ヒューズ, 130

## ふ

- ブレーキ
  - 仕様 ( 諸元 ), 129
- ブレーキパッド
  - フロントを点検する, 85
  - リヤを点検する, 86
- ブレーキフルード
  - スタンド後部を点検する, 88
  - スタンド前部を点検する, 87
- フレーム
  - 仕様 ( 諸元 ), 132
- フロントホイールスタンド
  - 取り付ける, 99

## へ

- ヘッドライト
  - 光軸を調整する, 49
- ハイビーム, 18
- ポジション / パーキングライト, 18
- ロービーム, 18

## ほ

- ホイール  
仕様 ( 諸元 ), 129
- フロントホイールを取り付ける, 93
- フロントホイールを取り外す, 92
- リヤホイールを取り付ける, 97
- リヤホイールを取り外す, 95
- ホイールリム  
点検する, 91
- ホーン, 15

## ま

- マルチファンクションディスプレイ, 17, 20

## め

- メンテナンス  
一般的な情報, 82
- インターバル, 137
- メーターパネル  
全体図, 17
- ライトセンサー, 17

## よ

- 予備  
警告表示, 24

## ら

- ライト  
パーキングライトを消灯する, 48
- パーキングライトを点灯する, 48
- ハイビームを点灯する, 48
- ポジションライトを点灯する, 48
- ロービームを点灯します。 , 48

## り

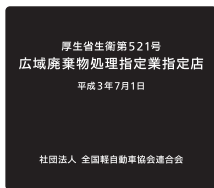
- リヤショックアブソーバー  
調整する, 11, 13, 55
- リヤスプリングプリロード  
調整する, 11, 13, 54
- リヤホイールスタンド  
取り付ける, 100
- リヤホイールドライブ  
仕様 ( 諸元 ), 128

## BMW Motorrad Recycle

### 二輪車を廃棄する場合は？

最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorradディーラーにご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは(社)全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

### リサイクル料金と二輪車リサイクルマーク

リサイクル料金は廃棄二輪車を適正な処理を行い、再資源化する費用です。

リサイクルマーク(3 cm × 3 cm)が車体(シートの下)に貼付されているBMW Motorradは、リサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれておりますので、再資源化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、運搬および収集費用は含まれておりませんので、お客様から廃棄二輪車取扱店、および指定引取所迄の運搬および収集費用はお客様負担となります。

尚、運搬および収集費用は、依頼する廃棄二輪車取扱店にお問い合わせください。

また、お客様の都合で二輪車リサイクルシステムを活用されない場合に於いても、リサイクル料金は返還いたしません。

- シート下のフレーム等に貼付しています。



リサイクルマーク  
(コード No 220)

## 二輪車リサイクルマークの取扱い

二輪車を廃棄する際は、二輪車リサイクルマークが必要となります。

リサイクルマークは車体から剥がさないでください。  
尚、紛失、破損による再発行、部品販売の取扱いはございません。

リサイクルマークの剥がれ等により、リサイクルマーク付車両か否か不明の場合は、(財)自動車リサイクル促進センターのホームページおよび二輪車リサイクルコールセンターでご確認ください。

## 廃棄二輪車に関するお問合せについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」の BMW Motorrad デイラーまたは下記の二輪車コールセンターまでお問合せください。

### (財)自動車リサイクル促進センター内 二輪車リサイクルコールセンター

電話番号	03 - 3598 - 8075
受付時間	9時30分～17時00分 (土日祝日、年末年始等を除く)
ホームページ	<a href="http://www.jarc.or.jp/">http://www.jarc.or.jp/</a>



ご購入いただきましたモーター  
サイクルの装備、アクセサ  
リー、仕様は、本書の説明や図  
と異なる場合があります。これ  
らについてのクレームはご容赦  
ください。

本書に記載されている寸法、重  
量、燃費、性能などのデータに  
は、一般に認められている許容  
誤差が含まれています。

デザイン、装備、アクセサリーな  
どは、製品を改良するため予告  
なく変更することがあります。  
印刷の誤りや誤字、脱字に起  
因するクレームはご容赦くだ  
さい。

© 2006 BMW Motorrad

本書の一部あるいは全部は、  
BMW Motorrad, After Sales から  
書式による承諾を得た場合を除  
き、複製することは禁じられて  
います。

Printed in Germany.

給油時に必要になるデータを以下の表にまとめてあります。

<b>燃料</b>	
推奨されている燃料の種類	98 ROZ/RON, 無鉛プレミアム 95 ROZ/RON, 無鉛スーパー (出力および燃費に関する条件付きで使用可能な燃料の種類)
フューエル容量	19 l, 使用可能 4 l, リザーブ容量
<b>タイヤ空気圧</b>	
フロントタイヤ空気圧	2.5 bar, 1 名乗車時 (タイヤ冷間時) 2.5 bar, 2 名乗車および / または荷物積載 (タイヤ冷間時)
リヤタイヤ空気圧	2.9 bar, 1 名乗車時 (タイヤ冷間時) 2.9 bar, 2 名乗車および / または荷物積載 (タイヤ冷間時)

BMW 推奨 

部品番号 : 01 49 7 706 123  
06.2006, 4th edition

